

次期総合計画策定のための市民ワークショップ° 「TALK & CAFE」 実施報告書



平成29年2月

春日井市

目次

I 実施概要

1	ねらい	1
2	日程	1
3	募集方法	2
4	ワークショップの進め方	2
5	トークテーマ	3
6	講師	3

II 実施結果

1	参加者の構成	4
2	地区ごとのまとめ	6
3	全体のまとめ	44

III 参考資料

	参加者アンケート	50
--	----------	----

I 実施概要

1 ねらい

地域の皆さんがカフェのようなリラックスした楽しい雰囲気の中で、地域の魅力や課題を話し合い、「こんなまちにしたい」という思いを集めました。

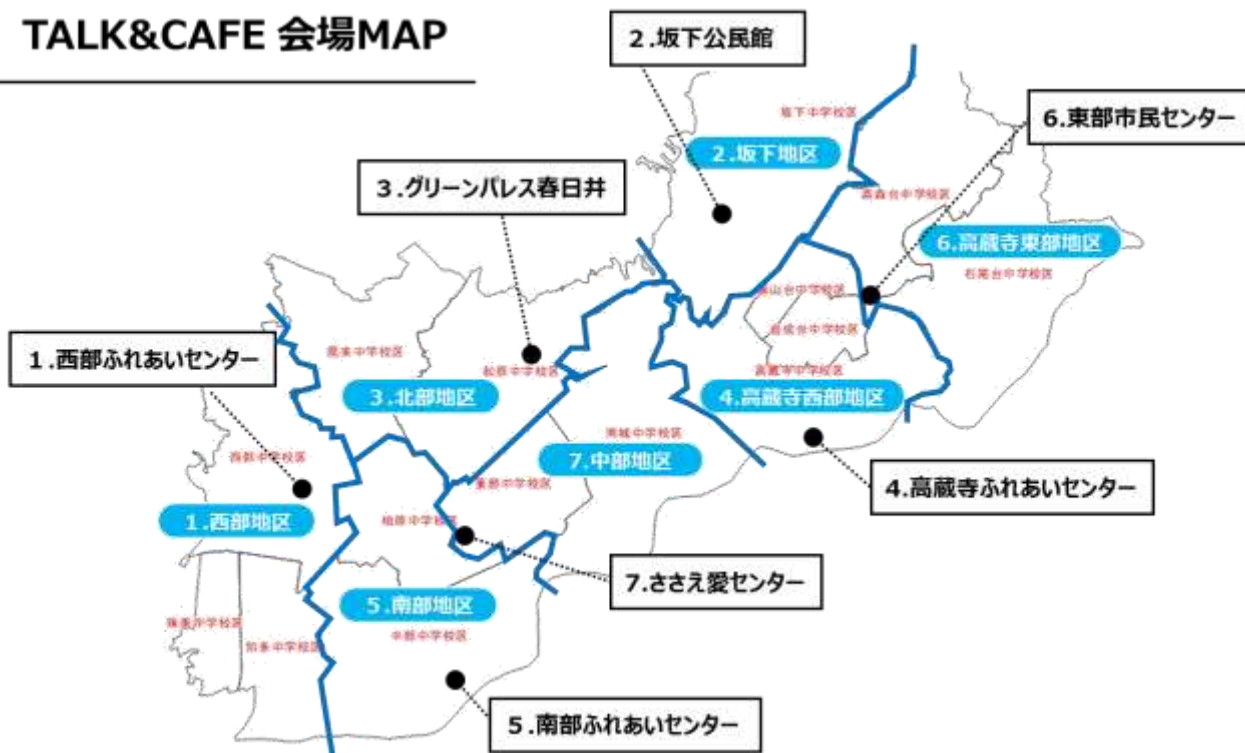
たくさんの思いは、春日井市の今後10年、20年先を見据えたまちづくりの指針となる新しい「総合計画」に盛り込んでいきます。また、参加された皆さんが町内会や市民活動団体など、地域の皆さんと「つながる」きっかけにもなればとも思い開催しました。



2 日程

回	開催日時	会場
1	平成28年6月25日(土) 13:00~15:00	西部ふれあいセンター
2	平成28年7月30日(土) 13:00~15:00	坂下公民館
3	平成28年8月21日(日) 10:00~12:00	グリーンパレス春日井
4	平成28年9月25日(日) 10:00~12:00	高蔵寺ふれあいセンター
5	平成28年10月23日(日) 10:00~12:00	南部ふれあいセンター
6	平成28年11月19日(土) 13:00~15:00	東部市民センター
7	平成28年12月17日(土) 13:00~15:00	ささえ愛センター

TALK&CAFE 会場MAP



3 募集方法

区分	内容
公募	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、市ホームページ、チラシ（公共施設、スーパー、金融機関、中学校等で配布） ・市民活動団体への案内
無作為抽出による案内	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地域の住民に案内状を送付（無作為抽出） ※ 4回実施したものの参加率が0.4%（7人／1,731人）と低いため、郵送料等の費用対効果を考慮して5回目以降は中止。
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地域の町内会への案内

4 ワークショップの進め方

3つのトークテーマについて、4～5人のテーブルごとにメンバーを替えながら話し合うワールドカフェ形式で行いました。各テーブルのファシリテーターは、市役所の様々な部署の若手職員が務めました。



■ワールドカフェとは？

リラックスした雰囲気の中で、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーの組み合わせを替えて対話を続けながら、参加する全員の思いを集めることのできる対話手法の一つです。

5 トークテーマ

- A あなたの地域の「良いところ」は何ですか？
- B あなたの地域の「困りごと」は何ですか？
- C あなたが10年、20年後に「あったらいいな」と思うことは何ですか？

※坂下地区、高蔵寺西部地区は、A,Bの2テーマで実施しました。

6 講師

椋山女学園大学人間関係学部人間関係学科
准教授 谷口 功 氏



名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻博士後期課程修了。
春日井市市民活動促進のための基本指針策定委員、名古屋市市民活動促進委員などを歴任し、現在は、春日井市総合計画審議会委員を務める。
地域社会学をはじめ、まちづくりや市民活動分野を中心に、現場を重視した実践的かつ学術的な研究活動を展開中。

II 実施結果

1 参加者の構成

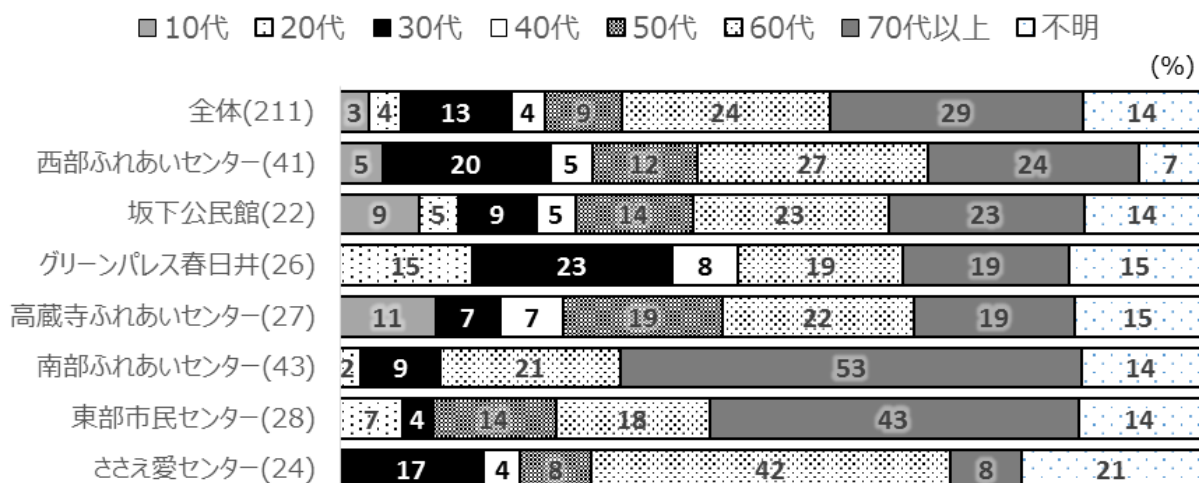
(1) 参加者数

回	開催日時	会場	参加者数
1	平成28年6月25日(土) 13:00~15:00	西部ふれあいセンター	41人
2	平成28年7月30日(土) 13:00~15:00	坂下公民館	22人
3	平成28年8月21日(日) 10:00~12:00	グリーンパレス春日井	26人
4	平成28年9月25日(日) 10:00~12:00	高蔵寺ふれあいセンター	27人
5	平成28年10月23日(日) 10:00~12:00	南部ふれあいセンター	43人
6	平成28年11月19日(土) 13:00~15:00	東部市民センター	28人
7	平成28年12月17日(土) 13:00~15:00	ささえ愛センター	24人
合計			211人

※上記の参加者数のほか、市役所職員がファシリテーターとして毎回10人参加しています。

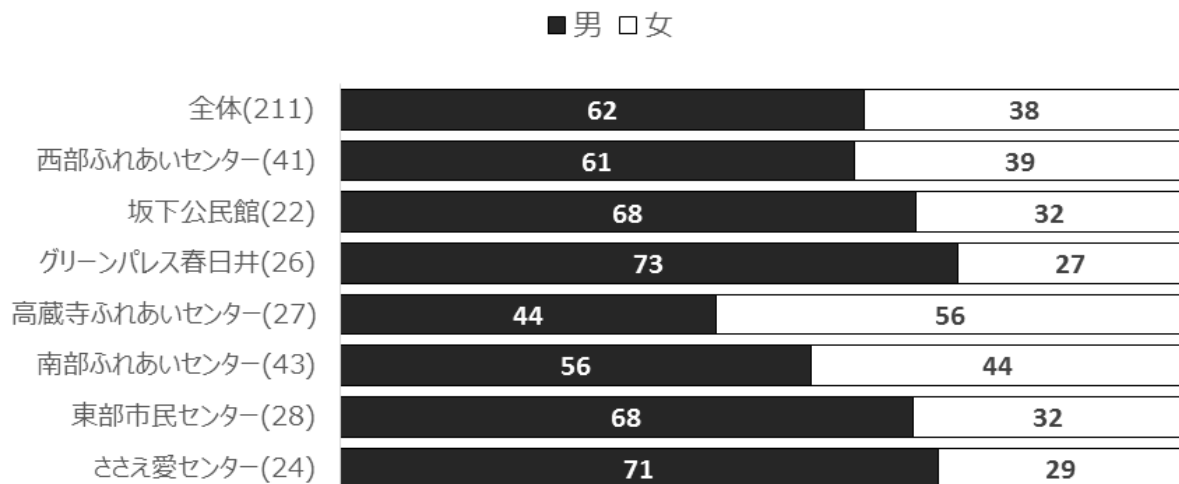
(2) 年齢構成

参加者の年齢構成は、全体では60代以上が約半数となっているほか、中学生や高校生、大学生、子育て世代など、幅広い年代の人の参加がありました。



(3) 性別

参加者の性別は、全体では男性が6割、女性が4割となっています。



(4) 申込方法

参加者の申込方法は、全体では公募が約8割、町内会が約1割となっています。



※ 案内状（無作為抽出）による参加者

- ・第1回 西部ふれあいセンター (249人送付、0人参加)
- ・第2回 坂下公民館 (498人送付、5人参加)
- ・第3回 グリーンパレス春日井 (492人送付、1人参加)
- ・第4回 高蔵寺ふれあいセンター (492人送付、1人参加)

2 地区ごとのまとめ

(1) 西部地区（6月25日 西部ふれあいセンター）



A 地域の「良いところ」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の良いところ	自分たちにできること
A1	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい！（緑が多い、公園が多い、人が優しい、絆がある、病院の充実、ラーメン、交通アクセスが充実） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを積極的につくり、絆を深めていく（声かけ、心がけ、あいさつ） ・多世代交流の場を増やしていく！ ・あいさつをしていこう！
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が身近で、便利な生活環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な良い情報を整理して、新しい市民にうまく情報発信する
A3	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい（公園、病院、スーパー、交通、自然、子育て、高齢者） ・地域コミュニティがまだ残っている（お祭り、町内会、子ども会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「共助」ではなく「協働」 ・地域サロン「高齢者版」（交流、元気な高齢者増加）、「子育て・子ども版」（交流、子育て支援）

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が多い ・高齢者が元気
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない

子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援が充実している ・安心して子育てできる環境 ・公園が多く、子どもが遊べる場所が多い ・産婦人科が選べる ・子育て支援宣言 ・ママの文化祭が楽しい
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会、子ども会などの地域コミュニティが残っている ・人がやさしい ・畑を借りている ・運動会、盆踊り、ウォークラリー等の地域行事が活発 ・神社やお寺の地域活動がある ・大弘法という18mの弘法大師の像がある ・春日井南高校にブラスバンドがある
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・都会過ぎず、田舎過ぎずちょうど良い ・土地区画整理が進んでいる ・駅、高校、市役所が近い ・名古屋まで30分、ベッドタウンとして最適 ・通勤・通学に便利 ・名鉄の2駅が牛山町にある ・自動車での交通の便が良い（I Cが近い） ・海と山に行きやすい ・坂が少なく、自転車で移動しやすい ・サイクリングロード、ウォーキングコースが多い（ただ日陰が少ない） ・飛行機を見ることができる（FDA、MRJ） ・公園が多い ・広い公園でイベントができる ・牛山公園ができて楽しい ・スーパーが多くて買い物に便利 ・ラーメン屋など飲食店が多い ・おいしいお店がある ・衣食住に困らない ・味美商店街のサマーフェスタで地域交流 ・勝川商店街弘法市での出会いが楽しみ
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・川が多く、土手が広い ・植物園、落合公園、朝宮公園と緑が多い ・車が少なく夜は静かで良い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の方が丁寧で親切

B 地域の「困りごと」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の困りごと	自分たちにできること
B1	・地域（町内会）	・敷居の低い関係をつくる ・地域の良さを伝える
B2	・世代の違う人との交流が少ない	・空き家などを使って色々な世代が交流できる場をつくる
B3	・ごみ出しマナーが悪い	・ごみ収集が終わってから掃除する ・収集日が守られていない人を見かけたら注意する

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	・地域の高齢化問題 ・低価格の介護施設の不足
防災・生活安全	・災害時の移動困難者への対応 ・犯罪（空き巣・自動車盗難など）が多い ・交通事故が多い
子ども	・地域に子どもが少ない ・ひとり親家族、ワーキングマザーへの支援不足 ・保育園で土曜日の14時以降に預かってもらえない ・日曜・祝日に子供を預けられるところがない ・西部地区の学童に入れない放課後格差がある ・子どもの家が定員いっぱいに入れない ・夏休みの子どもの家を保育園と同じ時間にしてほしい（7:30～） ・春日井小学校が古い、西部中学校が狭い ・室内の遊び場が少ない ・子どもが安心して遊べる場が少ない（見守り体制がない） ・親が意見を言える場が少ない
地域・文化・スポーツ	・町内会・子ども会の加入率が低い ・町内の役員を一部の人がやっている ・町内会に入りにくい ・地域の悩みを共有する場がない ・新興地域で住民同士の交流が少ない ・ごみステーションでのコミュニケーションがない ・三世代交流がない ・保守的で、アクティブな活動が少ない ・お祭りが盛り上がらない ・芸術が足りない ・映画館、野球場、サッカー場がない

都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車が生活に不可欠 ・渋滞、分かりにくい変則信号 ・駐車場が少ない、町内の道路が狭い ・道路の老朽化 ・公共交通機関が乏しい ・市内公共交通のバスは本数が少なく、終バスも早い ・公園の整備が不十分
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉が多くて大変 ・畑の草が燃やせない ・ゴミ出しマナーが悪い（特に町内会未加入者） ・ごみステーションのカラス ・他地域からのゴミの流入 ・騒音（小牧基地、飛行機、公園など）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「市政」、「社会」を知る場が少ない ・困っていることへの対応組織が明確ではない



C 10年、20年後に「あったらいいな」と思うこと

【各テーブルのまとめ】

テーブル	10年、20年後にあったらいいな	自分たちにできること
C1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園のすぐ隣に老人ホーム ・町内会で運営する施設 ・年代問わず集まれるコミュニティ施設（カフェなど） ・町内のつながり（お祭り） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で次世代に引き継いでいく ・異世代のコミュニケーションから少しずつ行動に移す
C2	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店、居酒屋、駄菓子屋などの人の集まれる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からあいさつをし、地域のつながりを大切にする
C3	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿のまちづくり ・町内会で運営する施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を利用して地元で運営 ・歩く+コミュニティを広げる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉、防災、防犯などの情報が正確につたわる社会 ・高齢者や障がい者の施設の充実 ・24時間体制の利用しやすい医療機関
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・事故・犯罪のない地域 ・女性と子どもだけの避難所
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・出生率の向上 ・私立中学校 ・職員のいるコミュニティセンター ・地域ネウボウ制度（子育て相談・支援制度） ・子連れで気軽に出かけられる場所 ・子どもがゆったりのおんびり広く遊べる場所 ・校庭開放 ・駄菓子屋さん（子どもが集まれるような） ・保育園にも保護者会 ・保育園と老人ホームの併設 ・自分の特技が分かる仕事体験工場（広場） ・ひとり親家庭への支援してくれる市役所の担当部署

地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣のつながり ・顔の見える明るいまち ・町内会で運営する施設 ・年代を問わず気軽に集まれるコミュニティ施設 ・三世代交流、おじいちゃん・おばあちゃん先生 ・お祭り ・情報ネットワーク（SNS）でつながる社会 ・地域自給力、発想してつながるまち ・子ども連れで行けるコンサートホール（ライブハウス） ・芸術が増えてほしい ・女性の遊ぶ場所が少ない ・クリエイティブな活動が増えてほしい ・「書のまち」のイメージ定着（春日井市民は字がきれいに） ・若者がアクティブに活動できる施設
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて楽しい通り、安心して歩けるまち ・デマンド交通機関、カーシェア ・高齢者向きの無料バス ・牛山公園まで来ている県道の完成 ・名鉄小牧線の地下化（高架） ・味美駅にエレベーター設置 ・リニアの駅 ・名古屋に通じる地下鉄 ・バリアフリー化 ・大きな複合遊具やバーベキューができる公園、キャンプ場 ・牛山公園に木陰がほしい ・下水道施設 ・MOZO級の商業施設 ・歩いて行ける温泉 ・アミューズメントパーク ・町内に喫茶店・居酒屋 ・野菜や果物の農園が近くにあると良い ・休耕田の活用、一坪農園、田んぼ
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルが見られる環境 ・きれいな川と魚
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・誇りのもてる魅力のある春日井

(2) 坂下地区（7月30日 坂下公民館）



A 地域の「良いところ」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の良いところ	自分たちにできること
A1	・緑と自然が多い	・「自然が多い」で終わるのではなく、自然をどう活かせるかを考える（子どもが遊べる場所など）
A2	・自然豊かで散歩に最適	・外へ出かける
A3	・自然豊かで歴史があり、人がやさしくあたたかみのあるまち	・環境美化 ・会に参加し、意見する ・歴史を伝える

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	—
防災・生活安全	・道路の整備がされていて事故が少ない ・ブランチブロック工法で整備 ・地域の見守り隊による子どもの見守りが安心
子ども	・子どもの遊べる場所（植物園、プール等）が多い ・子どもが明るく素直であいさつしてくれる ・子育てのママさんサークルが頑張っている

地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の皆さんが仲よし ・人がやさしい、あたたかいまち ・野菜のおすそ分けがもらえる ・新旧住民の交流がある ・地域の人があいさつを返してくれる ・子ども会などの地域活動が活発 ・夏祭「ちょうちん山」など祭りが多い ・夏祭りがにぎやか ・春日井まつり ・市外（秋田・男鹿市、カナダ・ケローナ）との交流 ・まちに歴史がある ・スポーツが活発
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・都会と田舎の中間で、住宅環境が良く、生活しやすい ・名古屋へ通勤・通学するのが便利 ・道路が広く、アクセスが良い ・公園がたくさんあり、整備されている ・飲食店が多く、店舗が大きく駐車場無料 ・サボテン、サクラ等の商品化
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・自然が身近にあって子育てに良い環境 ・星空が美しい ・落ちついて生活ができる ・緑（街路樹、自然歩道等）が多く、街並みがきれい ・地域の環境美化活動（クリーン作戦）



B 地域の「困りごと」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の困りごと	自分たちに行えること
B1	・地域の困りごとを行政が放棄している (自助・共助を強調しすぎ)	・地域や年代の枠を超えて知恵を出し合う
B2	・ごみの溜まりやすい所がある	・個人ではなくグループで活動する(イベント化して楽しみながら継続が重要)
B3	・生活に対する整備不足	・除草作業などできることを自分たちで行う ・夜間パトロールなど地域で行動を起こす

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見(テーブルに記載されたものを転記しています)
健康・福祉	・医療の充実(終末医療・NICU等) ・認知症の人への対応 ・高齢者が増えている
防災・生活安全	・防災倉庫の更改 ・盗難、空き巣がある ・通勤時間帯に通学中の子どもが事故に合わないか心配 ・運転マナーが良くない
子ども	・地域に子どもが少なくなりさみしい ・子育てにもう少し努力してほしい
地域・文化・スポーツ	・町内会や子ども会などの役員の担い手不足、負担増 ・新旧住民のつきあいがない ・近所の人とのコミュニケーションが少ない ・自分に得のあることは関心が高いが、ボランティア等にあまり参加しない
都市基盤・産業	・区画整理をしていないので道路が狭い ・内津川の整備が進んでいない(河川敷が散歩できると良い) ・交通の便が悪い。車がないと生活しづらい。 ・バスの本数が少ないので市役所、市民病院へ行けない ・道(市道、19号等)が混む ・店(大規模なショッピングモール)がない ・テーマパークみたいな遊ぶところが少ない ・本屋や映画館がない ・イノシシやハクビシン等の増加

環境	<ul style="list-style-type: none">・歩道の草木が伸びて歩きにくい・不良が多くてうるさい・空き家の増加・竹やぶの管理・カラスのいたずら・ゴミ出しルールが守られていない・ゴミが多く、ゴミを集めにくるのが少し遅い
その他	<ul style="list-style-type: none">・人口が減っている・行政が自助・共助を強調して責任放棄している

※坂下地区は、トークテーマを2つで実施



(3) 北部地区（8月21日 グリーンパレス春日井）



A 地域の「良いところ」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の良いところ	自分たちができること
A1	・近所づきあい、町内会活動がある	・子育て世代が町内会活動に参加しやすい 雰囲気をつくり、世代間交流の核になる
A2	・ボランティア活動が充実している	・情報発信・関心を持つ。他の人とのつながりの場に行く

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	・病院が近くにある
防災・生活安全	・自然災害が少ない（高蔵寺は地震に強い） ・治安が良い
子ども	・子育て世代の若い人が住みやすい ・親世代が中心になって自発的に子どものことを考えている ・子どもにやさしい ・子育て支援がしっかりしている

地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で防犯活動や声かけ、近所付き合いがある ・町内会が活発 ・体育振興会、社会福祉協議会、子ども会がある ・林島町は子ども会があり町内会加入者が多い ・年配の方から学ぶことで世代間交流がある ・大学生とコミュニケーションをとれる機会が多い ・若い人が増えた ・学生が多くてにぎやか ・好みのボランティア団体がある ・ボランティアをしたい人が多い ・お祭りがにぎやかで活気がある ・イベントの参加意欲が高い ・文化度が高い ・図書館が充実している
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発された勝川地区 ・東野は公共施設などが近くにあって便利 ・名古屋に出やすい ・高速道路などの交通の便が良い、運転しやすく整備されている ・JR、シティバスの交通のアクセスが良い ・イベントのときにシャトルバスがある ・落合公園やグリーンベルトなどの散歩コースが最高 ・公園が近くに多い ・おいしいお店、カフェがあり、女子会を楽しめる ・お店が多く、買い物が便利 ・サボテン、特産物がある ・弘法市
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が多く、自然が豊か ・夜が静か ・水がおいしい ・ほっとする空気感



B 地域の「困りごと」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の困りごと	自分たちにできること
B1	・ペットの散歩のマナーが悪い（犬のフンなど）	・町内での意識づけ。まずは自分の周りから ・散歩は近所の人だから声かけ ・あいさつで見られているという地域をつくる
B2	・世代間で地域の集まりが区分されている ・地域コミュニティの不足	・世代を越えて町内会、子供会などもっと広いコミュニティづくりのため、自分たちの地域を好きになる。 →防犯、防災など地域の繋がりが強くなる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	・病院（小さくても良い）が欲しい ・健康をつくる施設
防災・生活安全	—
子ども	・乳児の保育園の待機児童問題 ・子どもが少ない ・神領では兄弟が違う保育園になる
地域・文化・スポーツ	・世代ごとに地域の集まりが区分されている ・町内会長が回ってくる前に脱退してしまうため町内会が衰退していく ・町内会、子供会の加入者が減り、次の世代への引き継ぎが困難 ・町内会役員の担い手がない（ずっと同じ人） ・町内会に女性の参加が増え、力仕事が難しい ・市から町内会への文書が多すぎる ・パソコンが使えないと区長は大変 ・町内会の会合が毎月土曜の夜にある ・広報配布など町内会役員の負担が大きい(広報は月1回に) ・町内会の役員手当があっても良い ・近所の交流がない ・自分から動く人が少ない ・24時間使えるジョギングコースがない

都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・市、県道の自転車道の整備不足。道が狭く、ガードレールや歩道がない ・新しい施設ができると車も増えるので渋滞になる ・公共交通が少ない、車中心の度合いが過ぎる ・大泉寺は交通機関がなく買い物が不便 ・上田楽は最寄りバス停がない ・農業をやる人が少ない ・桃山の耕作放棄地増加
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみが多く、ごみの回収が遅い ・ごみの出し方のルールを守らない人が多い ・ごみステーションをネットではなく金網で囲えないか ・車でごみを勝手に捨てていく ・ドブ掃除が大変 ・ペットの散歩のマナーが悪い（犬のフンなど） ・公園のトイレが汚い ・車が多く、バイクがうるさい ・蒸し暑い



C 10年、20年後に「あったらいいな」と思うこと

【各テーブルのまとめ】

テーブル	10年、20年後にあったらいいな	自分たちにできること
C1	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな公園の整備 ・広い図書館 ・JR春日井駅の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民として要望を市に伝える ・市の施設を積極的に利用する
C2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まですべての人が集まれる場所（コミュニティ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にボランティア活動に参加する ・日常的な声かけ（あいさつ） ・地元愛を育てる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校の再利用（小学校の施設を介護施設に）
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な住まい（亜炭鉱がこわい） ・避難所の小学校にウォータークーラー ・高齢者や一人暮らしの人の巡回サービス ・孤独死防止 ・介護セラピー
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい施設、システム ・子どもの遊び場（色々な遊具、プール、プラネタリウム）
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人や世代が集えるフランクな場 ・やりたい事ができる雰囲気、施設、コミュニティ ・転入者を増やしエネルギーのある参加しやすい町内会 ・保育園児と高齢者がふれあう施設 ・自分たちの地域を好きになること ・地域ごとの特徴を残す ・ボランティアへの積極的な参加 ・町内会活動で子育て世代が世代間交流の核になる ・イタリアの協会のような様々な年代が出入りできる子どもの遊び場、食事提供 ・お父さんが活躍する場 ・郷土資料館 ・地域の歴史が分かる碑、説明板 ・広い図書館（夏休みは席の取り合いになる） ・スポーツ施設、科学館、ポーリング場

都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none">・その地域のニーズに合わせてサービスを提供できるような小さい市役所・JR春日井駅前の再開発（春日井駅周辺が駐車場ばかりでさみしい）・自動運転や自家用車が以外の新たな交通手段・シティバスの充実・愛知環状鉄道や城北線の乗入・荒子公園のプールを改修・広い公園・廃校の再利用（校庭を畑に）
環境	—
その他	<ul style="list-style-type: none">・他の市と交流



(4) 高蔵寺西部地区（9月25日 高蔵寺ふれあいセンター）



A 地域の「良いところ」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の良いところ	自分たちができること
A1	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が良い ・車での移動がしやすい ・近所のつながりが強い ・公共施設が充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・公園等の手入れに自主的に参加する（地域のつながりが深まる）
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代が住んでいる ・自然が豊か 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の集まりに積極的に参加する
A3	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすさ（人、自然、交通の便） 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが参加できる場づくり ・地域への情報発信

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターが近くにあり利用しやすい ・高齢者が多く、将来も住み続けやすそう ・高齢者サロンの開催
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少なく安心感がある ・洪水の心配が少ない ・犯罪が少なく安全で住みやすい ・他地域と比べてニュータウンは治安が良い
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が多く通学時間が短いので安心 ・公園が多く自然の中で遊びやすい、子育てする人が住みやすい ・祖父母と同居することで、多くの目で子どもを見守れる ・子どもを見守ってくれる近所の人がいる ・通学時の見守り隊がいる ・近年子育て世帯が増えてきた

	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをしている同年代の人が多い ・子育てサロンの開催 ・高校、大学が近い ・中部大学のキャンパス
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・古くからの住民が多く隣近所のつながりが強い ・よそ者を受け入れる風土がある ・人柄があたたかく顔の見える関係がある ・夏祭りや運動会が楽しい ・ニュータウン全体でコミュニティ活動が活発 ・世代を越えたコミュニケーションがある ・近所の人とあいさつや会話ができる ・近所と適度な距離感がある ・新旧住民の関係がすごく良い ・コミュニティなどの楽しい企画が数多くありすごく良い ・伝統、文化を守る姿勢が強い ・散歩できる所が多い
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理後地域が活性化した ・街並みがきれい ・都会すぎず田舎すぎず住みやすい ・公共施設が充実し、利用しやすい（図書館、ふれあいセンター） ・駅が多く便利、交通の便が良い ・名古屋に行きやすい ・コミュニティバスができて交通の便が良くなった ・高速道路があり車での移動が便利 ・道路が整備されている ・飲食店が多い ・スポーツ店、スーパー等、買い物がしやすい ・愛岐トンネル群
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・公園がたくさんあり、県有数の植物園もある ・緑が多く自然が豊かで環境が良い ・日曜日は草取りを住民で行っている ・サイクリングロードや河川敷に広場がある ・弥葺山、道樹山など手頃な山があり気軽に行ける (登山者に便利なシャワーなどの施設があるとよい) ・高座山の自然が目の前にある ・里山が残っていて、ホテルがいる ・西高森台の散策路 ・繁田川の地下水が湧いているところがきれい ・庄内川でカヌー ・静かで生活環境が整っている ・畑を借りて野菜を作り楽しい生活が送れる ・ビオトープ化した生活環境作り
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・役所の職員が優しい人が多い

B 地域の「困りごと」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の困りごと	自分たちにできること
B1	・公共交通手段が少なく不便（遠まわり）で、時間とお金がかかる	・若者を活用して人力車や自転車を使って移動手段とする ・ルートを見直し、目的地（駅、病院など）に直接行けるようにする ・オンデマンド車で利用者と提供者を結ぶシステムを作る
B2	・ゴミ出しのマナーが悪い	・ゴミのマナーを伝える ・イベントや行事を活用してゴミのマナーについて学ぶ！ ・ゴミの量を意識して減らす
B3	・世代間のコミュニケーション不足	・しっかりあいさつする ・イベントなどで交流する

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	・高齢者の増加 ・町内の認知症の人への対応（見守りのみ、通院補助ができない） ・夜間・救急の病院が遠い
防災・生活安全	・災害時の避難場所が堤防に近い ・水害（河川の越水や雨水浸水） ・防犯活動への参加者が減少 ・自動車の盗難
子ども	・小学校の児童数減少による単学級の増加 ・特別支援学級、配慮を必要とする児童の指導補助不足 ・小学校の校舎の雨もり ・中学校などの耐震性 ・高校のレベルアップ ・岩成台は日中、公園に子どもが少ない ・子育てママが働ける場所が少ない
地域・文化・スポーツ	・地元の古い家が多く、新しく引っ越された人達が交わりにくい ・地域、地区の行事が多い、マンネリ化している ・地域参加は見せかけ？ ・行事での若手が不足 ・マンション住人の地域行事への協力度が薄い ・町内会活動が停滞（役員、加入者の減少） ・コミュニケーションが薄れ近所づきあいがゼロ ・近所の方とのあいさつ ・親子が参加できるバザーなどのイベントが少ない ・神領校区は集会場所がない ・杵ヶ島は町内会長が30年近く同じ人 ・活発な活動があるが参加勧誘の仕方に問題がないか

	<ul style="list-style-type: none">・石尾台の過疎化、衰退化・文化、伝統、芸能をもっと広めたい・テニスコートが少なく状態が悪い・アウトドアができるような場所がない
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none">・バスの運行時間が限られており、公共交通が不便・交通手段が車で移動しか方法がない・車の運転マナーが悪い・大型物流倉庫ができれば交通渋滞が困る・団地の駐車場が少ない、路上駐車がが多い・タウン内の歩道の整備（歩道が狭い、横断歩道に信号が無い）・自転車専用の道の整備・急な坂道が多い・スーパーや飲食店が近くにない・外へ出歩く人が少なく町内に活気がない
環境	<ul style="list-style-type: none">・ゴミ集積所の散乱によるカラス、ネコ対策・町内のゴミ出しマナーが悪い・空き家が目立ってきている・緑地が多いが手入れが行き届かない
その他	<ul style="list-style-type: none">・公共施設の休日が全て日曜で利用づらい・行政の情報発信はしっかりしているが受けとる市民の意識が低い

※高蔵寺西部地区は、トークテーマを2つで実施



(5) 南部地区 (10月23日 南部ふれあいセンター)



A 地域の「良いところ」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の良いところ	自分たちにできること
A1	・公園が多く、自然も多く、住みやすい	・市民の手で公園の手入れ・管理
A2	・近所付き合い	・若い世代を巻き込む
A3	・自然が多く、公園が多い ・鉄道、高速道路など広域的な交通の便が良い ・区画整理等により地域環境が良くなっている	・町内会で防犯灯をLEDに換え、明るくする ・ゴミステーションを地元と協力して良くする ・公園や道路の管理（除草等）を町内会、老人会などの住民相互で行う

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見 (テーブルに記載されたものを転記しています)
健康・福祉	・健康に関心を持っている人が多い ・元気な高齢者が多い
防災・生活安全	・自然災害が少ない ・町内では防犯意識が高い (防犯カメラ) ・警察が多い ・防犯灯が多く設置されている ・日頃トラブルがない
子ども	・子どもが多いと地域が明るい ・知らない子どもたちが元気にあいさつしてくれる

地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが強い、人間関係が良い ・皆さんやさしくて親しみやすい ・隣人との挨拶がある。近所付き合いがあり安心できる ・若い人達が協力的で、グリーン作戦などのイベントにも参加 ・年齢差コミュニケーションや井戸端会議ができる ・町内にゴーゴーカフェが生まれコミュニケーションが良くなった ・学区の運動会での交流がある ・小さな祭が夏にある ・隣町と合同のゴルフ交流がある ・町内会、商店会との連携が良く、祭も盛大に行われる ・町内会、長寿会の活動が盛ん ・ゴルフ場が近くにある ・アウトドアスポーツにすぐ行ける
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・JR春日井駅の改築（南北自由通路が完成して便利になる） ・JR春日井駅は朝夕の通り抜けが多いが、日中は通り抜けできないので静か ・JR春日井駅、勝川駅の開発できれいになり人が集まりやすい ・駅前がにぎわっている ・駅に近くて便利！ ・駅、スーパー、ドラッグストアなどのいろいろなお店が近くて住み良い ・近くに気軽にランチができるお店が多い ・大型ショッピングセンターがある ・役所、銀行、商店が近い ・近くに南部ふれあいセンターがあり便利 ・区画整理の済んだ街で道路が広く、日当たりが良い ・一般住宅が増えて生活しやすい ・高速道路、鉄道などの交通の便が良い ・町田町はJR、高速道路の交通に利便がよい ・道路が狭いので車の速度が遅い ・名古屋に近くて住みやすい ・お出かけしやすい ・平穏な町だが、上条地域内に社会資源が少ない ・都会でも田舎でもなく環境がよく住みやすい ・田舎の良さど都会の良さを合わせて発展の余地を残す ・準工業地域であるがわりと静か ・公園が多い ・植物園に塔を立て目立たせたらシンボルタワーとして活性化ができる ・働く場所を増せる可能性がある
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い ・地蔵川も以前（王子製紙の下水）よりきれいになった ・上条は庄内川が近いので朝の散歩が楽しい ・桜の散歩道が近い、花の公園でラジオ体操ができる ・ごみの分別がすごく上手にできていて、いつもきれい ・ごみステーションが地元の協力で良くなっている

B 地域の「困りごと」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の困りごと	自分たちにできること
B1	・地域の交流が少ない	・町内会等へ加入するきっかけをつくる
B2	・ごみ出し ・町内会 ・道路	・パッカー車による回収後の清掃 ・町内会の未協力者に必要性を訴える ・時間をかけない行事、きれいにするまちづくりに協力を得る
B3	・町内会加入者の減少	・町内会加入の強制、勧誘の強化

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・病院が少ない ・高齢化 ・上条区に高齢者の生活支援の相談をできる所がない ・介護予防教室に男性の参加がない ・認知症の疑いがある独居の方に対して見守りのみで病院に連れて行けない
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難方法の啓蒙 ・堤防の決壊、水害の対策が必要 ・町田町町内がときどき大雨で冠水するが市の対応が悪い ・道が狭くて救急車、消防車が入れない ・防犯灯が少ない ・意外と事件、事故が多い ・自転車通学が多いので危険 ・生活道路への車が多い ・運転マナーが悪い（狭い道を猛スピード、ゾーン30、時間規制を守らない） ・路駐や駐車違反が多い
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを見守る老人が多くなってほしい
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少で町内会退会や子どもが減少 ・隣人との交流（話し合い）が少ない ・地域のつながりが希薄 ・町内会、老人会の加入が少なく、役員のなり手がいない ・個人情報があり町内会で情報が共有できない ・新しい住民と古くからの住民との行事などでの融合が難しい ・地域の行事に参加する人が減った ・公園の清掃の協力者が少ない ・町内イベントの時に行政もPR ・町内会と行政のつながりが少ない

都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理が不十分 ・未整理地域に下水道がない ・JR春日井駅で南北が分断されている ・名鉄春日井駅が暗い ・バスやシティバスのアクセスが悪い ・交通の便が悪い ・道路が狭く一方通行が多い。迷路になっている ・緑道の桜の木の根が浮いていて散歩の人がつまづく ・高齢や病気で自動車使用不可になり買物難民になる地域がある ・商店やスーパーが減り、近隣に買い物する店が少なくなった ・製造業が少ない ・優秀企業が少ない
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別ができずゴミ出しのマナーが悪い ・学生アパートが多くゴミ出し問題 ・ゴミ捨て場がなくなって困っている ・歩きタバコ多い ・空き地の管理が不十分（所有者や春日井市に要望しても解決しない） ・空き家が多い ・準工業地域で公害のおそれ
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・税が高い ・名古屋市との合併がかなりの問題の解決になる



C 10年、20年後に「あったらいいな」と思うこと

【各テーブルのまとめ】

テーブル	10年、20年後にあったらいいな	自分たちにできること
C1	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報の強化 ・駅前に高齢者・子育て集合住宅の建設 ・公共交通機関の充実 ・スーパー、移動販売の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市に対して市民が自分たちの意見を発信し続ける ・市が聴く体制を持ち、継続していく
C2	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症などになっても住み慣れた地域で生活できる家 ・高齢者だけでなく子どもに目を向けた施策 ・子どもを見守る高齢者が多くなってほしい！高齢者と子ども双方の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを大切にする ・町内会、子ども会など垣根を越えた忌憚のない話し合いの「場」 ・町内会加入率UPに向けて、行政も一緒になって動いてほしい（行政に声かけ、協力依頼。転入時に加入の案内、必要な情報提供）
C3	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会で協力する ・なるべく利用する

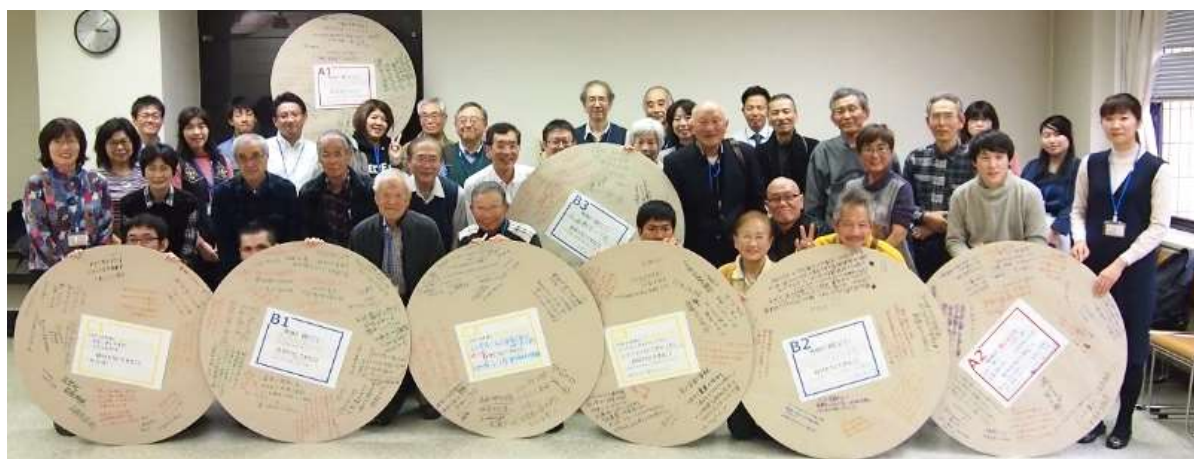
※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル医療や専門医療機関の偏りの改善 ・公園に高齢者の健康機器の設置 ・介護施設 ・認知症高齢者が生活できる家 ・地域で介護できるシステム（支え手や地域の受け皿） ・町内に一人暮らし高齢者の世話をする会 ・移動販売車が町内に来てほしい ・安楽死政策 ・高齢者に対する支援機関が多くほしい
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報の強化 ・災害時に高齢者のために地域でマイク等で連絡してほしい ・町田町は冠水するので10年先には冠水しない町内でありたい
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・公園での子どもの経験が少ない ・小中学校のトイレ等の設備改修に予算を付けて欲しい ・高齢者より子どもに目を向けた施策 ・子どもを見守る高齢者が多くなってほしい ・子どもでも気軽に相談できる場所の充実
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内が仲の良い街なので次の世代もそのままいてほしい ・昔ながらの付き合いが多い ・不二が丘は町内会が仲良しである ・老人会 G・G 毎週一回 ・夜間の飲み屋のお客等を注意する義務を町内会にもたせる ・年代別に気軽に相談できる所 ・気軽に集まっておしゃべりできる場所がほしい

	<ul style="list-style-type: none"> ・古い方と新しい方の近所のコミュニケーション ・老人会、子ども会、町内会を残してほしい ・交流の場をつくり、お互い忌憚のない話し合いの場がほしい ・南部ふれあいセンターで集まって楽しみたい ・市の手助けを借り個人の家を開放し話す場をつくる ・公民館を開放してフリースペースをつくる ・春日井は書のまち、文化の細分化（若者、高齢者別）
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備、区画整理で住みやすいまちづくり ・コンパクトシティ化継続 ・高座台3丁目のUR住宅を高齢者向け、子育て向けに建替えてほしい ・各JR駅前に公的住宅を建設してほしい ・マンション型の集合店舗や住居 ・春日井駅が車で通り抜け出来る様にしてほしい ・道にすわってゆっくり出来る場所（ほっとステーション） ・自転車用の道 ・バリアフリーの歩道 ・交通機関の充実 ・バスやシティバスの本数の増加 ・JR駅から離れた地域をカバーする周回集合バスがほしい ・ホスピタル行きの小まわりのきくバス等がほしい ・地下鉄がほしい ・グランドゴルフ大会移動手段がほしい ・リアの影響が心配なのでデータがほしい ・自動運転のタクシーの開発を促進し、老人同士の交流に無料で利用 ・スポーツができたり遊歩道がある公園 ・公園の芝生化 ・土地の有効利用で公園を作る ・道路の両側に緑 ・庄内川河川敷の有効利用 ・地蔵川から庄内川への排水工事が完了してほしい（ポンプ場の完成） ・大型スーパー又は昔ながらの小さいスーパーが出来てほしい ・すてきな洋服のお店がほしい ・近いところに個人商店がほしい ・徒歩で行けたり小さなお店でもかまわないので飲食店がほしい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然はすばらしいのでなくしてほしい ・稲のある景色
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井に住みたいと思わせる街づくり ・高齢化対策、子育て対策 ・意見の発信や要望を伝えるので市が聴く体制を作る

(6) 高蔵寺東部地区（11月19日 東部市民センター）



A 地域の「良いところ」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の良いところ	自分たちにできること
A1	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なまち ・環境保全のまち ・人材が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦への参加 ・耕作放棄地を耕す ・防犯パトロールへの参加 ・人材の活用 ・参加する場所の提供
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・交通の便が良い ・人材が豊か ・市民活動が活発 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の活動の活発化（女性・若者を取り込む→地域の問題を共有） ・住民と市の協働

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな病院が近い ・高齢者が元気 ・高齢化率が高いので老人が胸を張って暮らせるまち ・石尾台は高齢者が多い
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない（対策は必要） ・地域防災意識が高い ・地盤が強い ・治安がよく安心、安全 ・比較的不良が少ない
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・教育熱心な家庭が多い
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・女性がやさしくて元気 ・心優しい人が多い ・若い人が増えた ・市民活動が盛ん ・団体活動が活発（団体同士の横のつながりが少ない）

	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動、社会福祉協議会の活動などの意識が高い ・地域活動、ボランティア活動に熱心 ・行事などがある時は協力しそれぞれの持ち味を出す ・ネオポリスコミュニティの充実 ・サロンが多い（子育て、高齢者） ・近所付き合いがオープンで良い、わずらわしさが無い ・毎月「赤ちょうちん」飲み会がある ・東高森台小学校区域は小学校の教室を地域住民に開放されている ・押沢台地域は年間各種イベントが多い ・多様な能力を持っている人が多い、人材が豊か ・押沢台地域は人材が豊富 ・誇れるものが何もないから良い、これから作れる ・住民の文化水準が高い ・納涼まつりの花火がきれい ・お寺が多い
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ほどよく都会でほどよく田舎 ・インフラがしっかりしている ・白山町は新しい住宅が増えてきている ・中央台は環境が最高 ・病院、駅、図書館が近くにあるので生活しやすい ・大学がある ・名古屋の都心に近い ・市内の各地域に駅がある ・駅がきれい ・高蔵寺駅はほとんどの電車が停まる ・高速道路に入りやすく、車が走りやすい道が多い ・道が広い ・移動がしやすい（他県に行きやすい） ・シティバスがある（安い） ・公園が多い ・水道水がおいしい ・スーパーやコンビニ、スポーツジムが多い ・おいしい飲食店が多い ・藤山台はお店が近く買物に便利で近所がまとまっている ・どの店にもほぼ駐車場がある ・駐車場が広く困らない ・畑仕事ができる場所が近い
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が多く自然環境に恵まれている ・古木が美しく、桜がきれい ・散歩、ウォーキングに適している ・藤山台は緑や空気、静かで環境が良い ・ゴミの回収が多い ・煙がない

B 地域の「困りごと」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の困りごと	自分たちができること
B1	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の足が不安 ・高齢化、町内会の役員のなり手がいない ・文化施設、映画館がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・車のシェア ・移動販売 ・若い世代の誘致、子育て支援
B2	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションづくりの場、レクリエーションの場を拡げる
B3	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを使用する日をつくる ・ノーカーデーをつくる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院が遠い ・病院に行くにも交通手段が少ない ・高度医療が不備 ・高齢者問題への対応 ・近くにケアハウスがない ・老後、腰、ヒザが悪いので足が心配 ・一人暮らし高齢者の増加 ・東高森台小学校区域は医者はいないまち ・ニュータウン東北の外れは高齢化による交通、買い物、コミュニティ集会所なしの辺境の地
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に集まれるか心配 ・高速道路が近いため逃げやすく犯罪が多い ・愛知用水路添いの路駐は不審車両が心配 ・路上の違法駐車がなくなる
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・母校の小学校がなくなってしまった ・小学校が土日開いていない ・遊べる場所が少ない
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代がいない、少ない ・町内会の存続が危うい（役員のなり手、町内会の加入者の減少） ・高齢者が多く、地域活動の担い手の減少 ・若い人が町内の活動に参加してくれない ・町内会という意識（連帯意識）に欠ける ・若い世代と高齢者との交流が少ない ・助け合いがない、世代間での考え方の違い ・古くから住んでいる人が多い地区は、新しい人も含めてみんなが参加できるような地域になるといい ・もちつき、運動会など新しく来た人との交流がない ・近隣でもあいさつがない

	<ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いや交流がない ・個人情報の問題があって近隣の家族構成も分からない ・共助ができない ・近所に居酒屋がなく、あれば交流の場になる ・人がいなくなっている ・文化会館、図書、映画館がない ・大きなイベント用の文化、スポーツ施設がない ・安価利用できるスポーツ施設が少ない
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・東西の発展の差がある ・団地階段上り下り大変、低層でよい ・土地の下落が止まらない ・空き家が増えて埋まらない ・UR賃貸が高い（空いているなら、安くしてほしい） ・道路の補修が悪い ・道が混む ・高校、中学付近は自転車と自動車の専用道路にしてほしい ・坂が多い ・目の前の道路が危ない ・車に乗れない人には交通が不便 ・公共交通機関が不便 ・バスの本数が少なく待ち時間が長い ・公園の格差がある ・喫茶店等飲食店が少ない ・スーパー等がなく買い物が大変（買い物難民） ・お店が少なく住宅ばかり ・歩ける範囲で生活が成り立たない
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・犬猫のトイレの管理 ・ゴミ集積場のカラスによる被害 ・繁田公園の前に勝手に大きなゴミ収集場が作られました。ノイローゼになるぐらい頻繁に不法投棄、夜間ゴミ出し等があり困っています。住民に相談なしで作ることはいいのですか？ ・大留町の街路樹が切られ殺風景です。名古屋では減税の影響もあり、予算が少ないのに春日井は景観も何もなく気噴北でも樹木をさっぱりしすぎ ・高蔵林特別緑地保全地区を里山化してほしい ・ニュータウンの東北の外れは転出による空き家が増加

C 10年、20年後に「あったらいいな」と思うこと

【各テーブルのまとめ】

テーブル	10年、20年後にあったらいいな	自分たちにできること
C1	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集える場所 ・公共交通機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働
C2	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティで近場ですべて間に合うまち ・郷土愛 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ファーストで地域のものを利用
C3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で移動支援の仕組み ・空き家、空き室の活用（介護施設、居場所、コミュニケーションの場） 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方への声かけ（〇〇へ行くけどどう？） ・町内会の中で管理（掃除など）

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・病院を増やす ・誰でも入れる介護施設 ・小規模多機能型施設のようなアットホームな介護 ・足腰を補強する介護ロボット ・高齢化に伴う公共交通の充実や集まる場所（娯楽施設）の提供 ・障がいのある人でも気軽に入れる店 ・障がいのある人が働ける場所が多くあること
防災・生活安全	—
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預けられる場所を増やしてほしい ・小学校の増加 ・給食費の無料化 ・寺子屋 ・活動できる子ども会があるといい
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・人（子ども、高齢者）が集まることができる施設 ・世代を超えた交流の場（三世代交流拠点） ・三世代交流できる政策 ・三世代特区 ・集会所など集い学べる場 ・酒場など人が集える場所 ・お寺をもっと人が集うような場所に ・住民と職員が語り合う「場」 ・ピア活動をして仲間同志で活動出来る場所 ・高森台にハナモモの里桃源郷が出来て皆のコミュニティガーデンとして集まれる場所 ・高齢者から子どもまで一緒に集い食べる「コミュニティ食堂」の実現。食材はニュータウン周辺の農業を営む人達との提携 ・郷土愛 ・地域ファースト

	<ul style="list-style-type: none"> ・ツタヤ図書館 ・ゆっくり本を読んだり音楽を聞いたりできる所が欲しい ・運動が出来る施設等の施設の拡充 ・市民大学
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・町の集約（コンパクトシティ） ・公団（UR）を含む、建て替え時に空き家の集約化 ・高座台3丁目公団住宅（高蔵寺駅北）を高年齢者向、子育て向住宅に建替えてほしい ・路面電車や無人バス等交通手段を増やす ・ニュータウンの内にバスを通せば良い ・乗り合いタクシーや無人タクシー等の自由な移動 ・小型バスで本数が増えるとよいと思う ・自動運転道路 ・カーシェアリング ・19号の渋滞緩和 ・高蔵寺駅北南口のにぎわい ・地下鉄や高蔵寺駅に大きな駅ビル ・バス、道路沿いのにぎわい ・娯楽施設を増やす ・大きいデパートや飲食店 ・アピタは働く場 ・商店街（人情）の形成 ・歩いて行ける買物施設 ・コミュニティとしての昔のような商店街 ・若者の働くところとしての工場誘致 ・菜園都市の実現 ・農園場を貸し出す（市民農園） ・畑など農業の活性化
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり山の整備 ・高森台にハナモモの植樹を（育樹）やります（ニュータウンに桃源郷） ・高蔵林特別緑地保全地区を公園化、里山化してほしい ・空き家の有効活用
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・誰も（若者、子ども、高令者、障がい者）が幸せに暮らせるまち ・若者が集まるまちになれば良い



(7) 中部地区 (12月17日 ささえ愛センター)



A 地域の「良いところ」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の良いところ	自分たちにできること
A1	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が豊か ・生活環境が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な市民活動で自然環境の豊かさを次世代に伝えたい ・自らのアンテナを高く張る。活動に誘う。参加する。
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多く、落合公園を始め公園も多く、名古屋へのアクセスが良く、災害にも強い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多いので自然を護りながら子どもを育て、地域のつながりを強くし、防災意識を向上させる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見 (テーブルに記載されたものを転記しています)
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・病院がいろいろあり、揃っている ・元気な高齢者がいる ・勝川には元気な高齢者がいる
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・津波もなく、地震でも地盤が良く、洪水の心配もない ・防災がしっかりしていて災害に強い ・街路灯が多くて夜も明るい ・住居地域なので高い建物がなく、治安もよい ・犯罪が少ない ・ニュータウンは犯罪発生率が低い ・高蔵寺は犯罪件数、発生率が低い ・防災、防犯パトロールを月1回実施している ・近くに消防署がある
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティプールがあり、子どもが夏に安心して遊ぶことができる ・公園が近くにあり、子どもの声がある環境 ・子どもが多い ・子どもの医療費が無料

地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が活発 ・三世代が近所に住んでいる人が多い ・世代の幅が広い ・地域は大きさが大事なので西部地区はちょうど良い ・民生委員がよくやっている ・近所付き合いが残っている、声かけやあいさつがあり仲が良い ・まちづくりや市民活動の取り組みを行っている元気な高齢者が多い ・近所で野菜をもらえたり、ごはんを作り呼び合える ・中部地域は近所付き合いがよい ・ニュータウンはまちづくり等の市民活動が活発 ・高蔵寺は市民活動が活発 ・八事区は区長をはじめ祭などの行事や他の事もまとめてくれている ・商店街、町内会合同の夏祭りが盛況 ・大きな大学がある ・地域ごとに公民館や図書館（室）がある ・文化フォーラムなど欲張らない文化施設
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所に近くて便利 ・春見町は公的機関（市役所、病院）が近くて便利 ・新築を建てる若い人達が増えた ・交通の便がいい ・春日井駅が近く、通勤等に便利 ・JR春日井駅が新しくきれいになった ・多くの電車を見られる ・行き先が不便だがバス停は多い ・ニュータウン内に100円循環巡回バスがある ・大きな公園がある ・市民参加で考えた新しい公園が4つもある ・落合公園が素敵。広場があり花火などのイベントがあり、桜がきれい ・ニュータウンには公園がたくさんある ・公園で企業のイベントがある ・有名な会社がある ・買い物に行きやすく、市役所も近い住みよいまち ・コンビニが多く、薬局、本屋、スーパーなどが近く便利 ・お店が多く何でも揃っていて便利、買い物を市内で済ますことができる ・おいしいお店がある ・名古屋市に近い、川を渡れば名古屋市 ・勝川は市場が活発 ・勝川の商店街をメディアに出す
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・山や森が見え自然がある ・川が近くに流れている ・ふれあい緑道、歴史の道、下街道、サイクリングロードがある ・四季が感じられ散歩するのに楽しい ・ニュータウンは自然環境が良く、多く夜は静か
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・資源は多くあるので、どう発展するかが問題 ・広報春日井は充実している

B 地域の「困りごと」

【各テーブルのまとめ】

テーブル	地域の困りごと	自分たちにできること
B1	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故が多い ・空き巣が多い ・犯罪が多い ・地域連携の不足 ・ごみ出しのルールが守られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会を活性化させるイベントを増やしてコミュニケーションを図る
B2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが薄い 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車、移動図書館（毎日） ・新聞配達、ヤクルトおばさんなど仕事を通じての地域の見守り
B3	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段が一番困っている（バス循環の整備、交通安全対策） ・子育て世代のケア ・町内会の不満 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で交通マナーを改善する ・地域コミュニティの充実（あいさつ、話の場所）

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進の意識が低い ・高齢者が通院するための送迎システムがあるといい ・要介護者、それを支える家族の救いの場（情報）が乏しい ・認知症の人を支える体制がない ・認知症対策について地域のつながりが大切 ・見守りをしているが、認知症の一人暮らし高齢者への手助けが難しい
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨時の地蔵川の水位が高いのが不安 ・浸水常習地がある ・街灯が少ないので、犯罪防止のため増やしてほしい ・防犯灯はあるが、植木で影になっている ・県内他市に比べて犯罪が多い ・空き巣が多い ・防犯意識が低く、防犯集会を呼びかけても来場者が少ない ・高蔵寺ニュータウンは犯罪が少ないまちだが、その中に多い区域もある ・交通事故が多い ・交通安全対策が不十分 ・交通マナーが悪く、横断歩道に人がいても車が止まらない ・出勤時に抜け道としてスピードを守らない車が多い ・出川は交差点で車の運転が危ないときがある ・塾の周りの路駐 ・放置自転車が多数ある ・高齢者の免許返納
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・学力を補充する必要がある子が多くいるのに学校に残れない ・土曜日曜の小中学生の自習する所が充実していない ・子どもが楽しく無料で過ごせる場がない ・子どもが道路で遊ぶため危ない

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ないのでさみしくなっている ・子ども3人乗り自転車の優先の置き場がない ・金銭的補助等の子育て世代に対するケアが不十分 ・子どもの相談窓口、赤ちゃんが生まれる時の相談などのケア ・子ども会の参加が少ない
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への加入率が低く、役員のなり手がなく ・町内会を脱会する人が多くて困る ・マンションなどの集合住宅の人は町内に対する協力があまりない ・地域の仕事の担い手不足 ・老人会などがなく ・近所とのつながりが薄い、助け合うシステムがなく、地域連携の不足 ・転入者へのフォロー ・朝宮町は町内会に未加入の所があり、転入者も入らないし入れない ・若者が少なく、高齢者が多く ・外国人が少ない ・郷土館の建物の中に入れなく ・図書館のパーキングが有料 ・公園が無く、散歩コースが無く散歩するとすぐに信号で止まる
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井駅から市役所への道がわからなく ・新しい駅が思っていたより使いにくく ・信号が多く、道が混みやすく ・道路の修復ができていない ・歩道が狭く、街灯が少ない（神領の方は特に） ・自転車専用レーン ・交通の方法が考えられてなく ・外へ出るには便利だが市内をまわる公共交通が不便 ・自動車以外の交通手段が少ない（公共のバス等） ・バスの便が悪く ・バス停があってもほしいところになく、屋根がななく ・西部地区から市中心部への距離が負担 ・春日井駅の周りにもっと店がほしい、激安のお店や映画館がななく ・さびれた商店街、シャッター街が多く、飲食店がつぶれることが多い ・買い物大型スーパーばかり ・車で移動しなくてもいいところに商店がななく ・名産品がななく
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・19号線の暴走族がうるさく ・カラスが最近多くてゴミを散らかす ・ゴミ出しがルーズな人がななくならない ・マンション居住の外国人がゴミの分別をしていない ・野良犬、ネコが多く ・動物が近くにいない ・高齢化に伴い空き家が多くなつた ・空き家が放置され荒れている

C 10年、20年後に「あったらいいな」と思うこと

【各テーブルのまとめ】

テーブル	10年、20年後にあったらいいな	自分たちにできること
C1	・世代ごとに気軽に集まれる小規模コミュニティ施設（空き家を利用）	・町内会への参加を促す（顔を知る）
C2	・安全な交通設備 ・人にやさしいまちの心の教育	・大人から変わる ・声かけ運動
C3	・地域のお祭りを残したい	・役員を嫌がらず、自らが積極的に担い手になる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。

【分野ごとのまとめ】

分野	主な意見（テーブルに記載されたものを転記しています）
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出すことは認知症予防にも良いので無料で歌える場所がほしい ・町内に1つケアハウス ・夜間巡回の看護 ・難病の方のGPS付き意志表示カード ・楽しい老後やお年寄りが孤立しないまち作り ・小規模多機能型の介護施設
防災・生活安全	<ul style="list-style-type: none"> ・庄内川の整備 ・春日井を犯罪の少ないまちに ・全面に動く歩道を作り事故をなくす
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂 ・子どもたち（小、中、高校生）みんなで集まれる場所 ・雰囲気の良い学校 ・元教員などがボランティアで公民館などで勉強を教える
地域・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が交流できるコミュニティ施設（公民館+郷土館） ・コミュニティプールを続けてほしい ・子どもから高齢者まで地域の人が気軽に集まれるところ ・地域連携が活発になってほしい ・三軒両隣の精神向上 ・全戸町内会へ入る ・「地域見守り」のできる人づくり ・情報の開示が少ないので隣のことも判らない ・人口ともに住宅の減少 ・文化フォーラム等での勉強スペース（拡大、整理券） ・神領の古墳の所と名古屋市守山区とを一緒に整備する

都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・電柱の撤去（地中化） ・健康のための自転車道をつくる ・自転車の専用レーン ・市民病院から駅までの間に自転車専用レーン ・自家栽培のできる畑に囲まれた住宅地 ・移動型住宅（高齢者の移動、レンタBoxの進化手段） ・ハートフルライナーの時刻増やす ・病院、駅への交通手段 ・免許返納後の交通手段 ・長い横断歩道での安全なシステム ・19号線で中央分離帯に待機場所 ・信号の音声 ・町内の車の乗り入れ ・車を減らす ・地下鉄をつくる ・公園のトイレをきれいにする ・公園の整備をし、皆が集いやすい場所をつくる ・ベンチや健康器具を公園や緑道に設置してほしい ・鳥居松商店街を明るく盛り上げたい ・名産品を作る ・複数で畑をシェアする ・道の駅
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と接する場で四季を肌で感じる ・春見公園～市役所～中央公園までの緑地帯 ・市民の力で自然豊かなコミュニティガーデンをつくる ・春日井三山を春日井アルプスと全国に発信する ・紅葉とかの自然の名物観光スポット



3 全体のまとめ

A 地域の「良いところ」

「地域の良いところ」として、自然が豊か、交通アクセスが良い、近所付き合い等の地域コミュニティが充実している、総じて住みやすい、という意見が多く見られました。

地域の良いところを伸ばすために「自分たちにできること」としては、自然環境や生活環境の保全への積極的な関与、多世代交流、地域活動への参加、情報発信などの意見がありました。

地区	地域の良いところ	自分たちにできること
西部	・住みやすい！（緑が多い、公園が多い、人が優しい、絆がある、病院の充実、ラーメン、交通アクセスが充実）	・地域のつながりを積極的にづくり、絆を深めていく（声かけ、心がけ、あいさつ） ・多世代交流の場を増やしていく！ ・あいさつをしていこう！
	・自然が身近で、便利な生活環境	・身近な良い情報を整理して、新しい市民にうまく情報発信する
	・住みやすい（公園、病院、スーパー、交通、自然、子育て、高齢者） ・地域コミュニティがまだ残っている（お祭り、町内会、子ども会）	・「共助」ではなく「協働」 ・地域サロン「高齢者版」（交流、元気な高齢者増加）、「子育て・子ども版」（交流、子育て支援）
坂下	・緑と自然が多い	・「自然が多い」で終わるのではなく、自然をどう活かせるかを考える（子どもが遊べる場所など）
	・自然豊かで散歩に最適	・外へ出かける
	・自然豊かで歴史があり、人がやさしくあたたかみのあるまち	・環境美化 ・会に参加し、意見する ・歴史を伝える
北部	・近所づきあい、町内会活動がある	・子育て世代が町内会活動に参加しやすい雰囲気をつくり、世代間交流の核になる
	・ボランティア活動が充実している	・情報発信・関心を持つ。他の人とのつながりの場に行く
高蔵寺西部	・自然環境が良い ・車での移動がしやすい ・近所のつながりが強い ・公共施設が充実している	・自然・公園等の手入れに自主的に参加する（地域のつながりが深まる）
	・幅広い世代が住んでいる ・自然が豊か	・町内会の集まりに積極的に参加する
	・住みやすさ（人、自然、交通の便）	・誰もが参加できる場づくり ・地域への情報発信

南部	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が多く、自然も多く、住みやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の手で公園の手入れ・管理
	<ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代を巻き込む
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多く、公園が多い ・鉄道、高速道路など広域的な交通の便が良い ・区画整理等により地域環境が良くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会で防犯灯をLEDに換え、明るくする ・ごみステーションを地元と協力して良くする ・公園や道路の管理（除草等）を町内会、老人会などの住民相互で行う
高蔵寺東部	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なまち ・環境保全のまち ・人材が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦への参加 ・耕作放棄地を耕す ・防犯パトロールへの参加 ・人材の活用 ・参加する場所の提供
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・交通の便が良い ・人材が豊か ・市民活動が活発 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の活動の活発化（女性・若者を取り込む→地域の問題を共有） ・住民と市の協働
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が豊か ・生活環境が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な市民活動で自然環境の豊かさを次世代に伝えたい ・自らのアンテナを高く張る。活動に誘う。参加する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多く、落合公園を始め公園も多く、名古屋へのアクセスが良く、災害にも強い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多いので自然を護りながら子どもを育て、地域のつながりを強くし、防災意識を向上させる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。



B 地域の「困りごと」

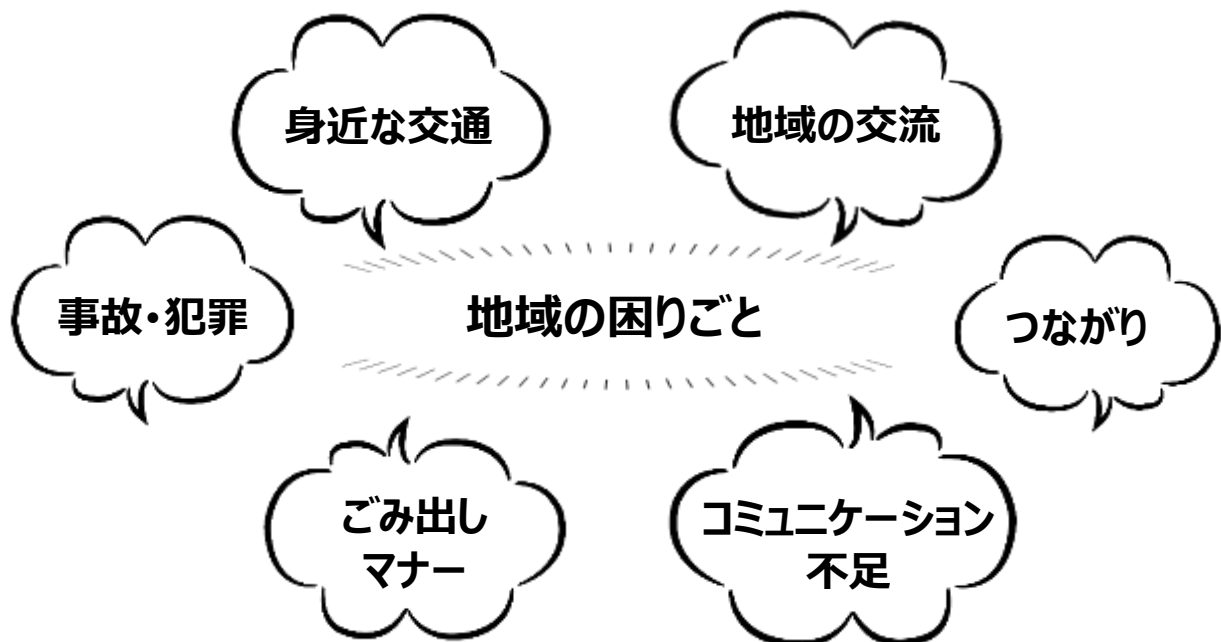
「地域の困りごと」として、町内会等の地域コミュニティの交流やコミュニケーションの不足、ごみ出しのルールやマナーが守られていない、身近な交通が不便、という意見が多くのある地区でありました。

地域の困りごとを解消するために「自分たちにできること」としては、地域での交流の場づくりや積極的なあいさつなどのコミュニケーション、ごみ収集後の清掃やマナーの注意、車のシェアなどの意見がありました。

地区	地域の困りごと	自分たちにできること
西部	・地域（町内会）	・敷居の低い関係をつくる ・地域の良さを伝える
	・世代の違う人との交流が少ない	・空き家などを使って色々な世代が交流できる場をつくる
	・ごみ出しマナーが悪い	・ごみ収集が終わってから掃除する ・収集日が守られていない人を見かけたら注意する
坂下	・地域の困りごとを行政が放棄している（自助・共助を強調しすぎ）	・地域や年代の枠を超えて知恵を出し合う
	・ごみの溜まりやすい所がある	・個人ではなくグループで活動する（イベント化して楽しみながら継続が重要）
	・生活に対する整備不足	・除草作業などできることを自分たちで行う ・夜間パトロールなど地域で行動を起こす
北部	・ペットの散歩のマナーが悪い（犬のフンなど）	・町内での意識づけ。まずは自分の周りから ・散歩は近所の人だから声かけ ・あいさつで見られているという地域をつくる
	・世代間で地域の集まりが区分されている ・地域コミュニティの不足	・世代を越えて町内会、子供会などもっと広いコミュニティづくりのため、自分たちの地域を好きになる →防犯、防災など地域の繋がりが強くなる
高蔵寺西部	・公共交通手段が少なく不便（遠まわり）で、時間とお金がかかる	・若者を活用して人力車や自転車を使って移動手段とする ・ルートを見直し、目的地（駅、病院など）に直接行けるようにする ・オンデマンド車で利用者と提供者を結ぶシステムを作る
	・ゴミ出しのマナーが悪い	・ゴミのマナーを伝える ・イベントや行事を活用してゴミのマナーについて学ぶ！ ・ゴミの量を意識して減らす
	・世代間のコミュニケーション不足	・しっかりあいさつする ・イベントなどで交流する

南部	・地域の交流が少ない	・町内会等へ加入するきっかけをつくる
	・ごみ出し ・町内会 ・道路	・パッカー車による回収後の清掃 ・町内会の未協力者に必要性を訴える ・時間をかけない行事、きれいにするまちづくりに協力を得る
	・町内会加入者の減少	・町内会加入の強制、勧誘の強化
高蔵寺東部	・買い物の足が不安 ・高齢化、町内会の役員のなり手がいない ・文化施設、映画館がない	・車のシェア ・移動販売 ・若い世代の誘致、子育て支援
	・コミュニケーション不足	・コミュニケーションづくりの場、レクリエーションの場を拡げる
	・交通機関が不便	・バスを使用する日をつくる ・ノーカーデーをつくる
中部	・交通事故が多い ・空き巣が多い ・犯罪が多い ・地域連携の不足 ・ごみ出しのルールが守られていない	・町内会を活性化させるイベントを増やしてコミュニケーションを図る
	・地域のつながりが薄い	・移動販売車、移動図書館（毎日） ・新聞配達、ヤクルトおばさんなど仕事を通じての地域の見守り
	・交通手段が一番困っている（バス循環の整備、交通安全対策） ・子育て世代のケア ・町内会の不満	・地域で交通マナーを改善する ・地域コミュニティの充実（あいさつ、話の場所）

※各テーブルでまとめたものを転記しています。



C 10年、20年後に「あったらいいな」と思うこと

「10年、20年後にあったらいいなと思うこと」として、地域で気軽に集まれる場、という意見が多く、多くの地区であったほか、移動支援や移動販売など高齢者が安心して生活できる環境、地域のお祭りを残したいなどの意見もありました。

10年、20年後にあったらいいなと思うことを実現するために「自分たちにできること」としては、日頃からの声かけや住民同士の対話、地域活動への参加などの意見がありました。

地区	10年、20年後にあったらいいな	自分たちにできること
西部	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園のすぐ隣に老人ホーム ・町内会で運営する施設 ・年代問わず集まれるコミュニティ施設（カフェなど） ・町内のつながり（お祭り） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で次世代に引き継いでいく ・異世代のコミュニケーションから少しずつ行動に移す
	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店、居酒屋、駄菓子屋などの人の集まれる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からあいさつをし、地域のつながりを大切にする
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿のまちづくり ・町内会で運営する施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を利用して地元で運営 ・歩く+コミュニティを広げる
北部	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな公園の整備 ・広い図書館 ・JR春日井駅の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民として要望を市に伝える ・市の施設を積極的に利用する
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まですべての人が集まれる場所（コミュニティ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にボランティア活動に参加する ・日常的な声かけ（あいさつ） ・地元愛を育てる
南部	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報の強化 ・駅前に高齢者・子育て集合住宅の建設 ・公共交通機関の充実 ・スーパー、移動販売の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市に対して市民が自分たちの意見を発信し続ける ・市が聴く体制を持ち、継続していく
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症などになっても住み慣れた地域で生活できる家 ・高齢者だけでなく子どもに目を向けた施策 ・子どもを見守る高齢者が多くなってほしい！高齢者と子ども双方の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを大切にする ・町内会、子ども会など垣根を越えた忌憚のない話し合いの「場」 ・町内会加入率UPに向けて、行政も一緒になって動いてほしい（行政に声かけ、協力依頼。転入時に加入の案内、必要な情報提供）
	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会で協力する ・なるべく利用する

※坂下地区、高蔵寺西部地区は、Cのトークテーマは実施していません。

高蔵寺東部	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集える場所 ・公共交通機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティで近場ですべて間に合うまち ・郷土愛 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ファーストで地域のものを利用
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で移動支援の仕組み ・空き家、空き室の活用（介護施設、居場所、コミュニケーションの場） 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方への声かけ（〇〇へ行くけどどう？） ・町内会の中で管理（掃除など）
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・世代ごとに気軽に集まれる小規模コミュニティ施設（空き家を利用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への参加を促す（顔を知る）
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な交通設備 ・人にやさしいまちの心の教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人から変わる ・声かけ運動
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りを残したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員を嫌がらず、自らが積極的に担い手になる

※各テーブルでまとめたものを転記しています。



おわりに…

全7回のTALK&CAFEには、中学生から高齢者まで延べ211人の参加があり、幅広い意見をいただくことができました。また、参加者の約9割が「参加して良かった」と感じ、地域の人同士で一緒に考えることの楽しさ、必要性を感じてもらうことができました。参加者の中には、連絡先を交換するなど新たなつながりが生まれる場面もあり、参加者同士がつながるきっかけにもなりました。ファシリテーターとして参加した市役所の若手職員にとっても、市民の皆さんと膝を突き合わせて話し合う貴重な機会となり、地域に出向くことや市民目線に立った考え方の必要性を改めて認識することができました。

一方で、まだまだ若い方の参加が少ないことや、無作為抽出での案内による参加が少ない、テーマの設定など、参加しやすい仕組みづくりや情報発信の課題もありました。

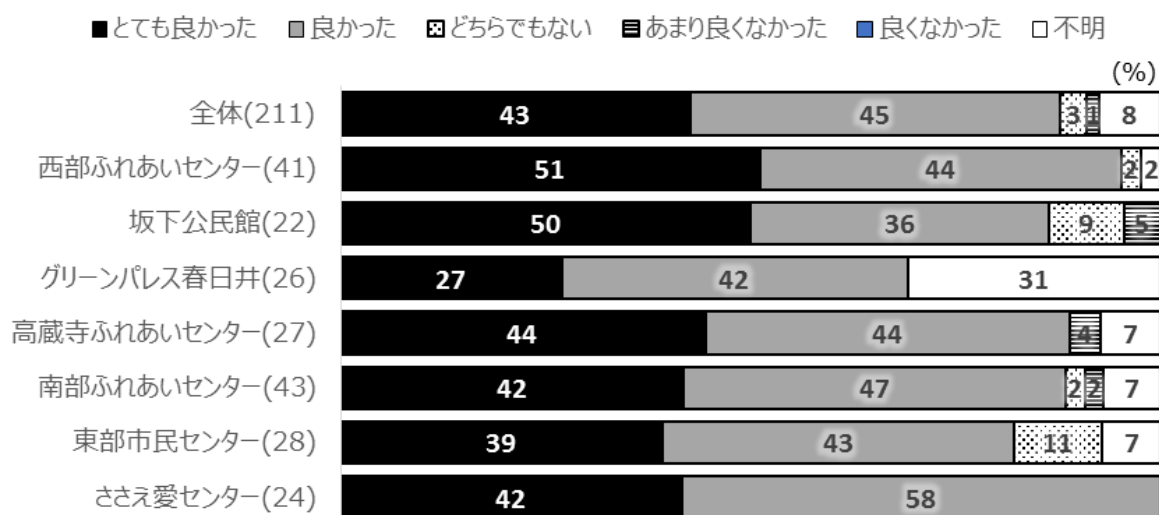
今後は、いただいた意見を新しい総合計画に反映させるとともに、各地域において住民同士はもちろん、行政と住民の対話の場を継続的に設けていくことが必要であると感じています。

Ⅲ 参考資料

1 参加者アンケート

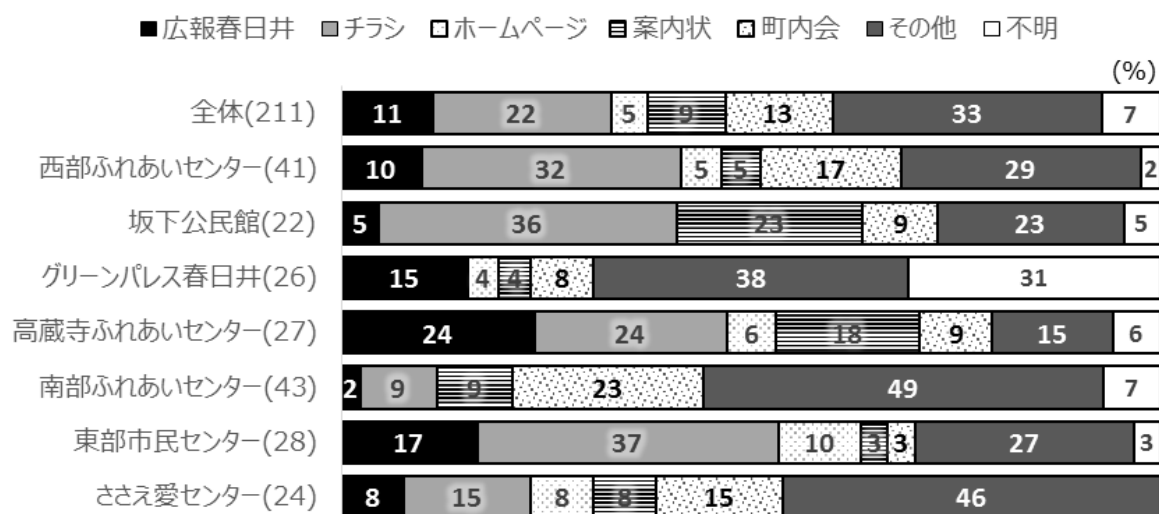
(1) 参加の感想

参加の感想は、「とても良かった」、「良かった」と回答した人が全体の約9割となっています。



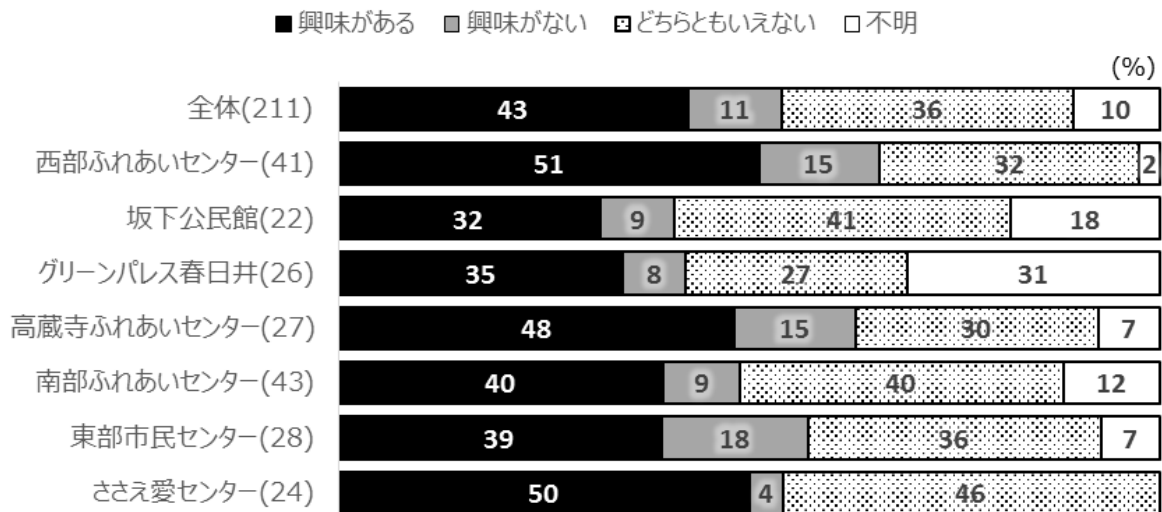
(2) 開催の認知方法

開催の認知方法は、広報春日井やチラシ、ホームページが約4割となっているほか、案内状、町内会がそれぞれ約1割、「その他」として友人や市職員からの案内等が約3割となっています。



(3) ファシリテーターへの興味

ワークショップのファシリテーターへの興味は、「興味がある」が約4割となっています。



(4) TALK&CAFEで話し合ってみたいテーマ

【1 西部地区】(6月25日 西部ふれあいセンター)

- ・行政改革、改善
- ・春日井市の現状把握、認識
- ・情報公開
- ・テーマは統一すべき
- ・春日井の魅力、良いところを活用する。何が特色か。
- ・遊び心、遊ぶことの大切さ
- ・引きこもり、不登校、DV
- ・町内会活動（専門家が少ない）
- ・地域バカの育成について
- ・まちづくり
- ・地域内（町内会等）での世代交代
- ・生き方
- ・子育て世代はもちろん、中高生も交えて地域のことを話し合ってみたい
- ・春日井市を活性化するために何が必要か
- ・高齢化について
- ・町内会のあり方
- ・まちの資源の有効活用
- ・出会い、ふれあい
- ・春日井市をもっと良くしていくために、若い世代にもっと興味を持ってもらうには？
- ・世代間コミュニケーション
- ・福祉（共助、公助の意識）
- ・地域コミュニティ

- ・子育て支援
- ・集約した意見を行動に移すには？
- ・頭も身体も健康に最後までボケない人生のためにできること
- ・もっと「こんな街にしていきたい？」という計画を深めていく、具体化していく機会を増やしたい
- ・春日井市の未来
- ・バス、交通
- ・春日井のまちづくり、居場所づくり
- ・子育て、福祉
- ・町内会運営

【2 坂下地区】（7月30日 坂下公民館）

- ・公民館等で開催されるイベントや講座
- ・春日井市をあげたイベント
- ・地域ごとの連携
- ・請願、住民投票
- ・元気なまちづくり
- ・今後の生活のあり方（子育て世代、高齢世代など）
- ・市民としての評価への参画
- ・自治会や地域組織のあり方
- ・春日井といえばこれというもの
- ・高齢化問題
- ・防災、空き家等
- ・高齢化社会のあり方
- ・地域の活性化、少子化、高齢化
- ・電柱の地中化
- ・ごみの分別を科学的に考える
- ・貧困とは。アウトリーチ、声かけなど。
- ・家族と社会（地域）との具体的関係
- ・特にない。現状で良い。
- ・街路樹、緑化
- ・住みやすいまちとは。住みにくいまちとは。
- ・困りごと、良いこと意外に市の将来について

【3 北部地区】（8月21日 グリーンパレス春日井）

- ・介護
- ・東京オリンピック2020への春日井市の関わり
- ・町内会と行政、子育て支援と地域、防災
- ・大変良いテーマでした。話しやすい。
- ・これからの日本を支えていくのは言うまでもなく若い人たち。どのようにしたら若い人たちが住みやすく結婚して出産して子育てを出来るかということ
- ・濃尾震災で北海道（石狩市等）への移住した人たちとの交流等（移住した人の子孫は春日井市を「ふるさと」と思っている人が多い
- ・まちで笑顔を広めるには何が大切か
- ・地域の雰囲気づくり。自分の地域でうまくいっているところ。
- ・老人の生活について

- ・今後、高齢化が進む中での市の取組について
- ・自分の住んでいる地域での工夫

【4 高蔵寺西部地区】（9月25日 高蔵寺ふれあいセンター）

- ・地域の安全
- ・山里の生かし方
- ・10年後未来プラン。10年後を考える。
- ・小中学生のTALK&CAFEの開催
- ・ニュータウンの治安の良さ（犯罪危険性の低さ）を世間にどのようにアピールするか
- ・自分たち（住民側）でできること
- ・春日井中心部から見た高蔵寺の捉え方、またその逆
- ・どこまでの範囲をコミュニティと捉えているか（町単位？学区単位？）
- ・地域のボランティア
- ・具体的な「街づくり」論議
- ・コミュニティのあり方。役員など、次世代に続けていける課題
- ・減災に向けて
- ・ニュータウン内では個々のつながりができにくい。横のつながりが持ちにくい。
- ・あえてテーマを決めず自由討論会にしても良いと思う
- ・今回のテーマをさらに踏み込んだ話
- ・豊かな自然を残すために
- ・基本理念、地域福祉、地域システムの構築、住民主体（住民参加）、伝統と特性を生かす、人間の尊厳
- ・高齢化に向けて、世代を超えて話し合いたい
- ・春日井の自然環境の保全
- ・こんな街にしたい！
- ・たくさんあり過ぎてまとまらない

【5 南部地区】（10月23日 南部ふれあいセンター）

- ・春日井市の総合事業の横の連携、サロン同士の情報交換会の開催
- ・春日井市を目立つまちにするには
- ・インターネット利用
- ・年齢別で同一テーマでの意見集約（相違点）
- ・名古屋市との合併。庄内川堤防決壊問題（対策）、緊急水害情報提供問題（対処）
- ・水害
- ・町内会のあり方。加入率減少対策
- ・老人と子ども対策
- ・地域のつながり（町内会加入に関する事など）
- ・災害対策（予防、取組など）
- ・町内会員の減少（再度話し合う）
- ・慣れてない方が多いと思う
- ・地域のリーダー育成・養成
- ・困りごと
- ・将来計画
- ・身近な対談ができる場所
- ・防災、世代間交流

- ・もう少しテーマをしぼってゆっくり話がしたい
- ・町内会加入率を上げるために実施可能な方法について
- ・空き地活用
- ・町内会加入率増加対策
- ・災害対応全般
- ・町内会への加入
- ・わからない、その時々
- ・世代間交流
- ・町内活動で困っていること

【6 高蔵寺東部地区】（11月19日 東部市民センター）

- ・市民協働
- ・これから直面する少子高齢化への積極的な対応
- ・ライドシェア
- ・環境問題
- ・防災
- ・今後のまちづくり
- ・住みよい環境づくり
- ・若者がここに居たいと思えるような場所づくり
- ・居場所（高齢者）作りの再構築
- ・高蔵寺ニュータウンの未来、希望
- ・春日井のあるべき交通体系
- ・医療・福祉。自分の体（健康）について気をつけていること。
- ・テーマが大きすぎる。具体的・個別的にしぼった方が良いのでは。
- ・高森山の公園化
- ・市との協働を話し合ってみたい
- ・ニュータウンにおける足の問題
- ・子育て世代の移住促進策
- ・コンパクトシティ
- ・女性の社会進出について。女性が働ける社会にするには。
- ・若者の結婚感
- ・新しい春日井づくりについて
- ・町内会の活性化
- ・これからのまちづくり

【7 中部地区】（12月17日 ささえ愛センター）

- ・町内会の運営
- ・予算
- ・まちづくり
- ・高齢者問題
- ・商店街の活性化
- ・バス路線
- ・犯罪の抑止
- ・高蔵寺ニュータウンのイメージ戦略
- ・春日井の歴史など

- ・今後の豊かな生活のために地域連携を深めよう。市－病院・施設－市民で話し合ったり。
- ・外国人をどう働きやすくするか
- ・地域の活動の参加方法
- ・これからの春日井の教育・学校
- ・自分の命は自分で守る
- ・小中学生の今、この先
- ・地域別に掘り下げたテーマで
- ・町内会の役員がうまく引継ぎができる方法
- ・寄り合いのできる場づくり
- ・子ども会
- ・人と人とのふれあい
- ・世代ごとの困りごと

(5) 今後のまちづくりで重要だと思うこと

【1 西部地区】(6月25日 西部ふれあいセンター)

- ・行政、首長の意識改革
- ・責任ある行政
- ・税の有効活用
- ・健康増進
- ・全世代の意見交換の場
- ・市民意識の醸成（市民活動、教育、生涯学習など）
- ・真面目すぎてはいけない。遊び心で気楽に！
- ・まちづくりの前の人づくり
- ・地域活動における市職員の協力は不可欠。地域貢献度を昇格・昇任の判断基準にすればますますやる気が出るのでは。
- ・地域のコミュニケーションづくり（若者と高齢者の支えあい）
- ・向こう三軒両隣の精神で活動を続けていくこと
- ・若者の意見、コミュニケーション
- ・防災の強化
- ・道路状況の整備（交通事故の多い交差点）
- ・人財（人材）、特に若い人
- ・顔の見えるつながり、それぞれが得意とするものや知識を気軽に発信して、多世代交流のきっかけとなる環境づくり
- ・お互いの楽しみの共有、共感
- ・地産地「商」
- ・町内会の再生
- ・コミュニケーション力
- ・いろんな人との交流
- ・FM放送
- ・コミュニティ、コミュニケーション
- ・世代間交流
- ・子育て高齢者の問題を別にするのではなく一緒に考える
- ・人と人とのつながりと支え合い

- ・町内会活動の発展
- ・目的を持って行動するよりも目的を持たない行動の方が意味があるかも
- ・異世代交流、情報発信
- ・世代間コミュニケーション
- ・縦・横のつながり
- ・受益者負担の精神ではなく、公助・共助の精神
- ・コミュニケーションづくり
- ・子育て環境
- ・地域住民同士のコミュニケーション
- ・学校の開放、誰もが気軽に行けるカフェ
- ・若い世代の意見をもっと聞くべき
- ・市民の意見をより多く、幅広い世代から聞き、共通合意を作っていく
- ・市民のまちへの意識を高めていくこと
- ・交通機関の充実
- ・バス、交通
- ・新しい交通システム（自転車）
- ・生産（農や職、手仕事）場所としての話題性
- ・子育て、コミュニティの場、福祉
- ・地域のつながり
- ・私にできること、あなたにできることなどの問いかけ

【2 坂下地区】（7月30日 坂下公民館）

- ・税金の無駄をなくしていくことに目を向けるべき。人の来ない公園、施設の継続の必要性。将来を背負っていく若い世代のために早急な対策が必要。
- ・地域の人たちとの交流
- ・コミュニケーションの強化
- ・環境に対する意識
- ・防災、防犯について
- ・高齢化対策
- ・税の使い方の情報公開
- ・行政の実行力
- ・今後の生活のあり方（子育て世代、高齢世代など）
- ・計画の評価については、前回のような数字の出し方ではなく、価値をどう評価するのか？最近のSROIなどが話題になっていますが、スローガンのものだけではなく、市民が何をどう行動するのかまで少しずつ進化していけると良いかなと思います。
- ・市民と行政の一体化。市民だけ、行政だけという形にしない。
- ・子育てと高齢化
- ・ゆとりと笑顔
- ・コミュニケーションづくり
- ・祭りごとを多くする
- ・まちの景観整備（電柱の地中化など）
- ・ランチブロック工法と防災
- ・高齢者と若い世代を超えたイベント
- ・緑と子ども
- ・人口、年齢構成の変化を見据えた行政計画

- ・高齢者、子どもなど誰でも暮らしやすいようにする
- ・若い人の参加
- ・自然環境の維持
- ・市民の参加と協働づくり
- ・町内会の活性化
- ・住民と行政の役割
- ・主体的に行動すること
- ・各自が迷惑しない生活

【3 北部地区】（8月21日 グリーンパレス春日井）

- ・子どもたちの声が絶えない春日井市
- ・情報公開。ただし、悪用されないよう留意。
- ・小学校など遊休施設の活用
- ・子育て支援
- ・防災（減災）
- ・近所との言葉をかけ合う
- ・耕作放棄地対策
- ・車に乗れない人への対応策
- ・空き家対策
- ・市民の関心が重要
- ・住み良いまちにしてほしい
- ・特徴をPRして春日井の魅力を周知したい
- ・世代を超えた交流！
- ・コミュニケーション
- ・参加しやすい雰囲気
- ・気軽に集まれる場所←地域の公園を過ごしやすく！
- ・公共の交通機関
- ・買い物弱者支援（買い物が不便なところ）
- ・市民の多くの人があんの少しのボランティア活動に参加する
- ・若い人たちから高齢者まで集えるまちづくり
- ・高蔵寺ニュータウンなど高齢化が進んだ地域の再生
- ・地域のコミュニティづくり
- ・一人暮らし高齢者へのケア
- ・介護問題
- ・春日井市をどうアピールするか！良いところを出し合って。

【4 高蔵寺西部地区】（9月25日 高蔵寺ふれあいセンター）

- ・地域のコミュニティ
- ・春日井市の「中心」づくり
- ・おもしろい行事を実行する具体案。誰がいついくらでどこでどんなことをやるか。
- ・小中高生などの若者を中心としたワークショップを企画すること
- ・人間関係を改めて考えること
- ・ニュータウンの犯罪発生率は他地域に比較して極めて低い。これをニュータウンの資産としてまちづくりに活かしたい。
- ・施策に対しての進め方。行政と住民の切り分け。

- ・人口減少。子育てしやすいまちへ。ライバルは日進、長久手です。
- ・コミュニケーションの持ち方など家族ともに話し合っていきたい
- ・地域の特色をいかす
- ・地域を巻込む
- ・地域の方々とのつながり、コミュニケーション
- ・発表者の女子大生の方の仰るとおり、次世代の意見や提案を反映させていくことが大切だと思います。あとは一言、「オンリーワン高蔵寺」のまちづくりですね。
- ・隣同士のふれあい。隣にどのような方が住んでいるのか分からないでは大変問題。町内会加入などの進め方の案内。
- ・老若の逆転（高齢社会）に向けての意識改革への呼びかけ
- ・自然環境を整え自然小動物とともに過ごせるようにしたら子どもたちに自慢できるまちになると思う
- ・地域間での世代を超えたコミュニケーション（人との関わり）
- ・市民力を上げること
- ・行政と町との風通しを良くする方法を考えてほしい
- ・高齢者の活躍の場、子どもの居場所、高齢者から若い世代へ伝えていくことの大切さ
- ・真に住民参加を進めること
- ・高校のレベルアップ
- ・ウォーキングしやすい道の整備
- ・市民の声を聴くこと（今回はとても良い機会でした）
- ・75才以上になれば車の運転ができなくなる。80才や82才くらいまでの間、銀行、病院、買い物の足をどうするか
- ・地域の人たちを巻き込んで活動する
- ・地域のつながり。世代をまとめる。

【5 南部地区】（10月23日 南部ふれあいセンター）

- ・町内会の重要性を地域の皆さんに伝える
- ・今回のようなワークショップの開催
- ・様々な団体活動により春日井を良くすることを考える機会の増加
- ・高齢者における介護施設対策
- ・近隣のつながり
- ・話し合い
- ・安心、安全、便利
- ・皆で協力し合って行動をとる
- ・No1安全性に励むこと
- ・文化と環境と社会福祉
- ・小中学校のトイレ改修
- ・地域の子どもが安全安心に過ごせるように老人が見守る体制を！
- ・交通機関の発達
- ・道路の問題
- ・福祉
- ・このような会議を繰り返す
- ・これからも大人や子どもの意見を聞き、話し合いがあったらいいですね！
- ・記載されない事をじっくりと再確認してほしい。すぐに「ごみ」として捨てないようにね。
- ・安全な暮らしだと思います
- ・古い町内の区域整理を市として進めてほしい

- ・町内会に加入する
- ・将来計画
- ・文化の交流、文化の細分化（若者、高齢者別）
- ・市民の主体性
- ・交通網
- ・住民同士のコミュニケーション
- ・人々の集う場所
- ・春日井市の基本方針（住民、市民の意見を取り入れた）
- ・若い人にも住みたくなるまちづくり。シンボリックな施設があるといいですね。
- ・特色あるまちづくり
- ・災害に強いまち
- ・町内会組織
- ・下水道整備
- ・皆様の協力、話し合いだと思います
- ・コンパクトシティ。歩いて暮らせるまちづくり。
- ・なくなりかけてる地域の近所付き合い
- ・近所付き合い

【6 高蔵寺東部地区】（11月19日 東部市民センター）

- ・市民協働
- ・個々の考え、意識
- ・これからの10年、20年先のことを考えてコンパクトシティに向けて動き出すこと
- ・子育て世代を呼び込む方策を！
- ・総花的ではダメ。優先順位を決め、できることから施行。住民の力を借りる（専門的団体の活用）。
- ・若年層の増加
- ・町内単位での交流
- ・各自治グループによるコミュニケーションの場づくり。町内会は機能しにくいと思える。
- ・交通手段の確保。車が運転できないときの市役所へのアクセスがよくない。高い。
- ・協働しやすいまちづくり
- ・スーパー、買い物店の進出
- ・高齢者に元気に活動してもらおう施策などを市と住民で考えること
- ・100%ではなく60%でもGO！の気概。非難、苦情を恐れなくてください
- ・春日井のあるべき交通体系。これができれば街が変わる。多くの問題が解決できる。
- ・住民相互のコミュニケーション
- ・互助・共助の意識。若年者と地域でのコラボレーション企画（勝川商店街は良い例と思います）
- ・先生の最後の言葉にあった住民の自治意識が大切。そして市民協働！
- ・もっと若者が参加できるように、色々な活動は確かにあるが、高齢化が目立つ。各世代をしっかりと集めて話し合うのがいいのでは？
- ・公共交通システム
- ・空き家対策
- ・情報公開
- ・ニュータウンにおける足の問題
- ・子育て世代の移住促進策
- ・コンパクトシティ

- ・住みやすいまち。住んで不便を感じないまち。
- ・障がい者、高齢者の参加できる場所の提供
- ・市民協働
- ・人とのつながり（コミュニティ）
- ・市民の声を聴く姿勢
- ・行政と町内会・住民との協働、連携
- ・若年齢層の人、女性の参加
- ・少子高齢化が進む中で、どのように若い世代にニュータウンに住んでもらえるか（移住－PRすべきポイントはたくさんある）

【7 中部地区】（12月17日 ささえ愛センター）

- ・地域密着関係
- ・自転車専用レーン
- ・やさしさ
- ・地域のコミュニケーション
- ・市の指導
- ・世代間交流
- ・交通の利便性
- ・積極的に参加すること
- ・市民参加、市民協働によるまちづくりを進める
- ・春日井市の特色が出せるまちづくり（歴史の発掘とか）
- ・市が主導して行っていく事業の方にも住民主導で行えるものがあるとよい。また、区画整理を行っていく中で失われてしまう歴史の保護。
- ・今回のTALK & CAFEのような場がもっと活発になっていくこと
- ・地域コミュニティ。地域力をどう強めるか。
- ・人づくり、組織づくり。ただし、上から目線にならないこと。
- ・春日井市として特徴のあるまちづくり。10年後、20年後の町に未来ある子どもたちをどう育てるか
は重要。どの子どもも明るく通える学校づくり。総花的はどれも×。
- ・人づくり
- ・文化施設のあり方
- ・子どもたちが今をどう思っているか。私（一人）の意見で何も変わらないと思わないこと。人と話を
していくこと。人の話を聞くこと。
- ・各地域のリーダーとなり得る人材の養成
- ・コミュニティ。見守り。
- ・若い人にまちづくりをしてもらいたい
- ・明るい未来（老後）の見えるまち
- ・特にこれはない。大所高所で。
- ・やさしく、思いやりのあるまちづくり
- ・健康増進について医療を身近に
- ・今後駅周辺は発展してくると思うためイベントで若者に、郊外は住みやすく

(6) その他の意見等（感想、印象に残った意見、進め方の改善案等）

【1 西部地区】（6月25日 西部ふれあいセンター）

- ・時間がもっとほしい
- ・素敵な先輩方に出会えた
- ・伝え方のスキルの重要性
- ・大変意義のある企画。実効性のあるまとめをしていただきたい。
- ・最後の意見（全体まとめ）を発言したい
- ・方向性も大切だが、そのための具体策が重要だと考えます
- ・ワークショップとても良いと思いますが、お一人お一人の声がよく聞き取れないことがあり、少し残念でした。
- ・ここにいらっしゃる方はとても前向きな方ばかりです。家にいてどうしてよいかわからない方を引き出すのも課題と思います。
- ・第1回と言うことで、もう少し時間、回数が必要
- ・異なった考えを持った方々との意見交換ができて大変良かった
- ・小さなことの集まりで大きな波を作っていく必要性があると思う
- ・次のステップへの思いがまとってきた
- ・年代間の意見。町内会、若い人が参加できない。
- ・総体的に良かったと思う
- ・各自メモ用紙があった方がよい
- ・書き込む時間と会話時間とのバランス
- ・つながりということで名刺交換的なあいさつもできると、この場限りの出会いにならないので次につながると思います。
- ・今回のイベントは非常に良かった
- ・託児が何歳まで利用できるか分からず、子ども（8歳）を図書室で過ごさせました。相談できたらよかったかな？
- ・楽しかったです。期待しています。
- ・いろいろな発想があり、楽しませてもらいました。
- ・元気なおじいちゃんたちの話に新たな気付きがありました。世代交流は大事です。高校生の参加！
- ・とても良かった（参加して良かった）
- ・今回初めて参加しましたが、楽しく参加させていただきました
- ・皆さんが地域で困っていることがあまりないと感じた
- ・時間がない→物足りない→課題・もっと言いたい方向にも行ってしまいそう
- ・思っていたよりもたくさんの方、色々な世代が意見交換でき、楽しかったです。普段、自分と同じ世代としか話す機会がなかなかないので良かった。
- ・地域包括支援センター職員を入れてほしい
- ・実際の喫茶店を借りてやってみてほしい
- ・なかなか難しいところかとは思いますが、時間の割にテーマが多かった
- ・男性の方の参加が多かった
- ・若い方は積極的な意見が多かった
- ・町内会の加入についてはどこも困っていると思った
- ・会議室のようなところでやってほしい。テーブルがないのは情けない。
- ・具体的な案を練る機会であるならば、少し物足りない感じがしました。

- ・とても楽しかった
- ・よく分からないまま参加して、進行していくうちに意見がまとまり記入することができ、また他の人の考えも聞け、年齢的に同じ考えの方もいて話しやすかったです。
- ・私たちの町内は区画整理からも外れ、開発が全くなくて取り残された感があり寂しく思ってます。
- ・無いものねだりではなく、あるもの・良いところをさらに伸ばすという話は感銘した。
- ・思ったより人が多くてびっくりしました。良かったと思います。
- ・音が響くので、もっと話しやすい会場が良いと思います。
- ・もっと狭い地域での話し合わないと真の改善はできない

【2 坂下地区】（7月30日 坂下公民館）

- ・多くの人の意見が聞けたり、話す機会があり大変良かったです
- ・市を見直すきっかけになりました。すごく良かったです。またお願いします。
- ・年齢層に差があり驚いたが、良いのではないかな
- ・和やかで良い。市職員に好感を持てる機会となり良かった。
- ・今回の進め方については良かったと思います。
- ・今回は良いグループのメンバーに恵まれて楽しい話の機会となりました。ありがとうございました。
- ・いろいろな意見を伺うことができ良かったです。若い世代の参加者さんや、行政の若い方もいてくださりよかったです。
- ・このような場はとても貴重なので良い体験ができました。また参加してみたい。
- ・初めてこのような話し合いの場に参加させていただき、熱心に話し合われたので良かったと思います。
- ・色々な意見が参考になった
- ・たくさん意見が出て戸惑いもあったが勉強になった
- ・事前のテーマが必要
- ・話す時間が少なかった。事前に具体的なテーマがあると心の準備が可能。
- ・中学生など若い方の参加は良かった。土日なのも良かった。
- ・住民ができる範囲を少しでも明確にできると良い
- ・今回は内容の少ないワークショップだと感じた。時間が少なすぎる。具体的な本当の困りごとが出てこなかった。
- ・豊かな自然をどう活かすか
- ・子どもと自然
- ・違うテーマでもいろいろ話せる場所、新しい出会いがあって良かった

【3 北部地区】（8月21日 グリーンパレス春日井）

- ・TALK & CAFEがどんな会なのか初参加で不安でしたが、参加して良かったです
- ・春日井市役所の皆様、準備等大変だったと思います。ありがとうございました。また参加したいです。
- ・こういう場なのか、ボランティア精神をお持ちの方が多く見受けられた
- ・もう少し突っ込んで話し合っても良かったのでは。全体の進行やお茶等の提供があることが事前に分からなかったのも、何を事前に準備しておくべきかなどイメージがつかみにくかった（それがワークショップというものかもしれないが）
- ・もう少し時間を長くにとって出来ればと思います
- ・市民の生の声を計画に活かしていこうという姿勢はとても大切だと思います
- ・年代の偏りが気になった。さまざまな年齢層が適度な比率で来ると良いと思う
- ・大変良かったです。勉強になりました。
- ・意見はもっともと思うが、それを実現する難しさをどう解決するかが問題
- ・こうした会があることを初めて知りました！なかなか話のできない人たちと交流できて良かったです！

- ・もっと細かい地域でできるといい
- ・町内会が盛んな地域を知りたい
- ・良かった！
- ・地域のコミュニティが大切なことが勉強になりました
- ・今日のような年齢を超えた人の話し合いの場をもう少し広げていくといいのでは
- ・今回のような住民参加型の交流会を多く行ってほしい
- ・このようなTALK & CAFEで多くの人とつながれるようになれば良いですね

【4 高蔵寺西部地区】（9月25日 高蔵寺ふれあいセンター）

- ・大変勉強になりました。
- ・いろいろな意見が聞けて楽しかったです。特に女子大生の意見
- ・小中高校生をもっと参加させてほしい
- ・これからの子どもたちとの関わり方を学べたと思う
- ・ワークショップ等に参加しない（できない）若者、高齢者の意見の収集
- ・ごみ拾いイベントの若い方のご意見が良かった。ゴミモンGO！ごみに関して、さわやか収集（高齢単身向け）はもうやめて、職員対応ではなく、近所の人たちにゆだねる方向に。
- ・活発な意見などこうした形式もいいなあと思いました
- ・地域間でも小グループでできたら、もっと地域の活性化に結びつけることができるのではないのでしょうか
- ・もう少し具体的なテーマがあっても良いのでは？
- ・世代ごとにグループを作って意見を交わすのも良いかも
- ・若い方の意見発表が伺えて良かった
- ・地域のボランティア活動も高齢化でなかなか若い力が入ってこない
- ・当然、お金（予算）のかかることではありますが、「出来るか？」という観点から話を進めると、結局、当たり障りのない進捗となってしまいます。「これをやりたい！」という意見の集約をして、まちづくりに活かしてほしいと思います。
- ・初めての参加でとても良かったです。もっと堅苦しい場だと思いましたが、楽しく参加させてもらいました。
- ・本日の発表にもあったように、市民参加に若年者への参加協力
- ・もっといろいろな世代の方々が出席すれば、さまざまな意見が出てくると思う
- ・市職員の方々がもっと地域に関わるのが可能な政策があれば
- ・若い人の意見
- ・様々な世代の方の意見を聞くことができ、勉強になりました
- ・実は、春日井市が住みやすいまちだと実感しました
- ・計画の枠組み、考え方（総論）も議論の対象としてほしい
- ・非常時の対応（駐屯地との契約は）
- ・様々な世代の方の参加があり、皆さんのお話が聞けたことがとても良かったし、興味深くおもしろかったです。今後も皆さんとつながるといいなと思いました。
- ・今回高校生、大学生の参加がありすばらしい。中学生の参加を望みたい。
- ・次は話し合うテーマを教えてもらえると助かります
- ・今回のような進め方で良いと思うが、もう少し本音で話し合いたい

【5 南部地区】（10月23日 南部ふれあいセンター）

- ・新鮮でした
- ・みんなで寄ると思いもよらぬ考えがでてくる

- ・10年、20年後、施設を子育て、高齢者と作ることを早くお願いしたい
- ・このようなことは何回となく行ってきたことである。毎年やることではない。もっと基本的な所をするべき。今回のような話はあまり意味のある所ではない。
- ・小中学校のトイレ改修
- ・町内会加入者を増やす対策として、行政と一緒に住民となって届出にきた人に案内状を配布する
- ・やはり高齢化の社会現象により、高齢者対策の要望の意見が多かった。老人、子どもの政治・政策が必要。
- ・大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・町内会への興味等が少ない
- ・参加が初めてなので勉強になりました
- ・慣れない会議であり、もっと他の方法があると思う
- ・皆さんの色んな意見が聞けて良かったと思います
- ・多くの人の意見が割合よくまとまったと思う。ただし、内容は同じようなテーマが重なったのは仕方ないことだと思う。
- ・人それぞれの考え方が色々あり今後の考えの参考になった
- ・参加者の中に同じ人が来ているようだが、メンバーは新しい人にする方が良い
- ・他部署の若手職員がファシリテーターとして参加しているのは、職員の研修も兼ねていて良いと思う
- ・話し合いは充実した時間でした
- ・将来に実現してほしい具体的なテーマをしぼって行きたい
- ・毎回参加して新しい発見がある。テーマを少しずつ変化させると良い。
- ・大変良かった（特に問題ありません）
- ・活発な意見が聞けた
- ・皆さんとの交流ができた
- ・同じような気持ちを持っているようです
- ・本物のテーブルがほしい
- ・若い人とは異なる視点からの意見を聞くことができて良かった
- ・意見の集約も良くできたと思う

【6 高蔵寺東部地区】（11月19日 東部市民センター）

- ・内容（進行方法等）がよく、自由に発言ができて良い会だった
- ・これからも何回も開催してほしい！
- ・テーマごとの時間が少なすぎる。2つぐらいにしぼった方が良い。
- ・今回は他のワークショップより多くのまとまった意見が出たと思える。ただし、防災と子育ての視点が欠けていた。
- ・市役所職員の方と直接お話しができたのが良かったです
- ・もっともっと早くからこのような機会があったら良かった。これからも続けてほしい。
- ・今回のやり方のプラスもあるが、マイナスとして深堀りした意見のやり取りができないと思った。
- ・ガス抜きと言われても続けることが大切。頑張ってください。
- ・住民の意見を聞く場があるのは良いことですが、その意見を反映されたかどうかのコメントがほしい（困りごとのコメントに対し）
- ・地域の方の声が聞けて良かった。病院でも紹介したい。
- ・色々な人の意見はあったが、大きくはニュータウン住民が感じていることは一緒。
- ・お互いの世代が理解できるといいな

- ・話し合ったことが今後どう取り組んでいくか、知る方法を教えてほしい
- ・URの空き集合住宅を市が借り上げ、シングルマザー等の若い世代に安く貸したらどうか
- ・あらかじめ進め方、テーマなどについてお知らせ願えば、もっと有意義な討議ができたのではないか。何も分からず参加したので・・・。
- ・皆でまちのあり方を考える良い機会となりました。今後もこうした場を続けていただくことを期待します。
- ・もっと若い人の意見も聞きたかった
- ・参加者全員が積極的であったこと
- ・色々な意見が聞けたこと
- ・問題点を列挙し、今後の市政の中でどう活かされたかの報告があればと思います
- ・市民の意見をたくさん取り上げてほしい

【7 中部地区】（12月17日 ささえ愛センター）

- ・子ども食堂の件
- ・初めてでも話しやすかったことがとても良かった。また機会があれば参加したいです。
- ・良い
- ・若い力に期待します！
- ・もう少し時間をかけてディスカッションをした方がよいのでは？
- ・春日井市の中の問題があらためて知ることができて良かった
- ・ダンボールを机にすると足の上に置かないといけないため書きづらくなる
- ・同じ春日井市に住む人たちの春日井市に対する様々な声が聞いてよかったです
- ・新人職員に春日井市の寺、お宮、古墳、交通渋滞など、色んな場所（今回問題にならなかったところ）を見てもらう。
- ・良かったのではないのでしょうか。特にテーブルに書くのは良い方法と思いました。
- ・個人としてアピールしたいことを述べられる場も欲しかった
- ・大変かもわかりませんが、年7回といわず多くしてほしい
- ・職員がリードすることをボランティアでできないか
- ・まとめの発表はあるのか。他地域のことが知りたい。
- ・軽い気持ちで参加しましたが、楽しく話をさせてもらえました。市役所に行ってたまたま見つけたのでの参加でしたが、今後もやっていただき多くの人の意見に耳を傾けてください
- ・まちづくりに関心を持っている若い方がいることがわかり良かった
- ・楽しい会でした
- ・ワールドカフェ方式で勉強になりました。進め方をまた聞く機会があるかもしれません。
- ・リニア化（ビルとビルをつなぐ）
- ・地域ごとに課題の違いがあった。ただ元は住みやすく元気という意識は同じと感じた。病気の人や子どもなどもっと多くのことを知ることが大切だと思う。



**次期総合計画策定のための市民ワークショップ
「TALK&CAFE」実施報告書**

発行年月 平成29年（2017年）2月

発行 春日井市

編集 企画政策部企画政策課

〒486-8686

愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地

電話（0568）81-5111（代表）

<http://www.city.kasugai.lg.jp/>
